

ADWAYS

2022 FEBRUARY 10, 2023

PRESENTATION MATERIAL

FULL
YEAR

FY2022

東京証券取引所プライム市場 : 2489
株式会社アドウェイズ

2022年12月期 決算説明会
2023年2月10日 取締役会長 岡村 陽久



目次

1. 通期業績 ... P.7
2. 第4四半期の業績 ... P.18
3. 株主還元 ... P.27
4. 業績予想及び
中期経営計画 ... P.29
5. 事業概況 ... P.32
6. 補足資料 ... P.59

本資料における記載方法について

- ・2021年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。それに伴い「旧基準での売上高」を「取扱高」として記載しております。
- ・2021年12月期から決算期を変更した事により、2021年12月期は国内会社9ヶ月間、海外子会社12ヶ月間、2021年12月期第3四半期は国内会社3ヶ月間、海外子会社6ヶ月間となります。
- ・2022年12月期通期(2022年1月～12月)と前期通期の比較(報告セグメントの取扱高の比較を含む)にあたり、2021年1月～12月の実績は、2021年12月期(国内会社9ヶ月間、海外子会社12ヶ月間)の実績に2021年3月期第4四半期(2021年1月～3月)の国内会社の実績(取扱高を含む)を加えた数値を参考値として使用しております。
- ・2022年12月期第4四半期(2022年10月～12月)と前年同期比の比較(報告セグメントの取扱高の比較を含む)にあたり、2021年10月～12月の実績は、2021年12月期第3四半期(国内会社3ヶ月間、海外子会社6ヶ月間)の実績から2021年7～9月(3ヶ月間)の海外子会社の実績(取扱高を含む)を差し引いた数値を参考値として記載しております。(エージェンシー事業の報告セグメントについては、比較が困難であるため、前年同四半期からの増減額、増減率は記載しておりません。)
- ・上記2021年1月～12月の実績及び2021年10月～12月の実績は、会計監査人による監査を受けた正式な数値ではない事をご了承ください。
- ・2022年12月期より報告セグメントを、アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援を行う「エージェンシー事業(国内/海外)」と、UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービスの運営を行う「アドプラットフォーム事業」としております。
- ・売上総利益率、販管費率、営業利益率、経常利益率、利益率(親会社株主に帰属する純利益率)、売上原価率、掲載料率は取扱高に対する比率を記載しております。

本資料における記載方法について

本資料での各会計期間（参考値を含む）と、会計期間の比較は以下となります。

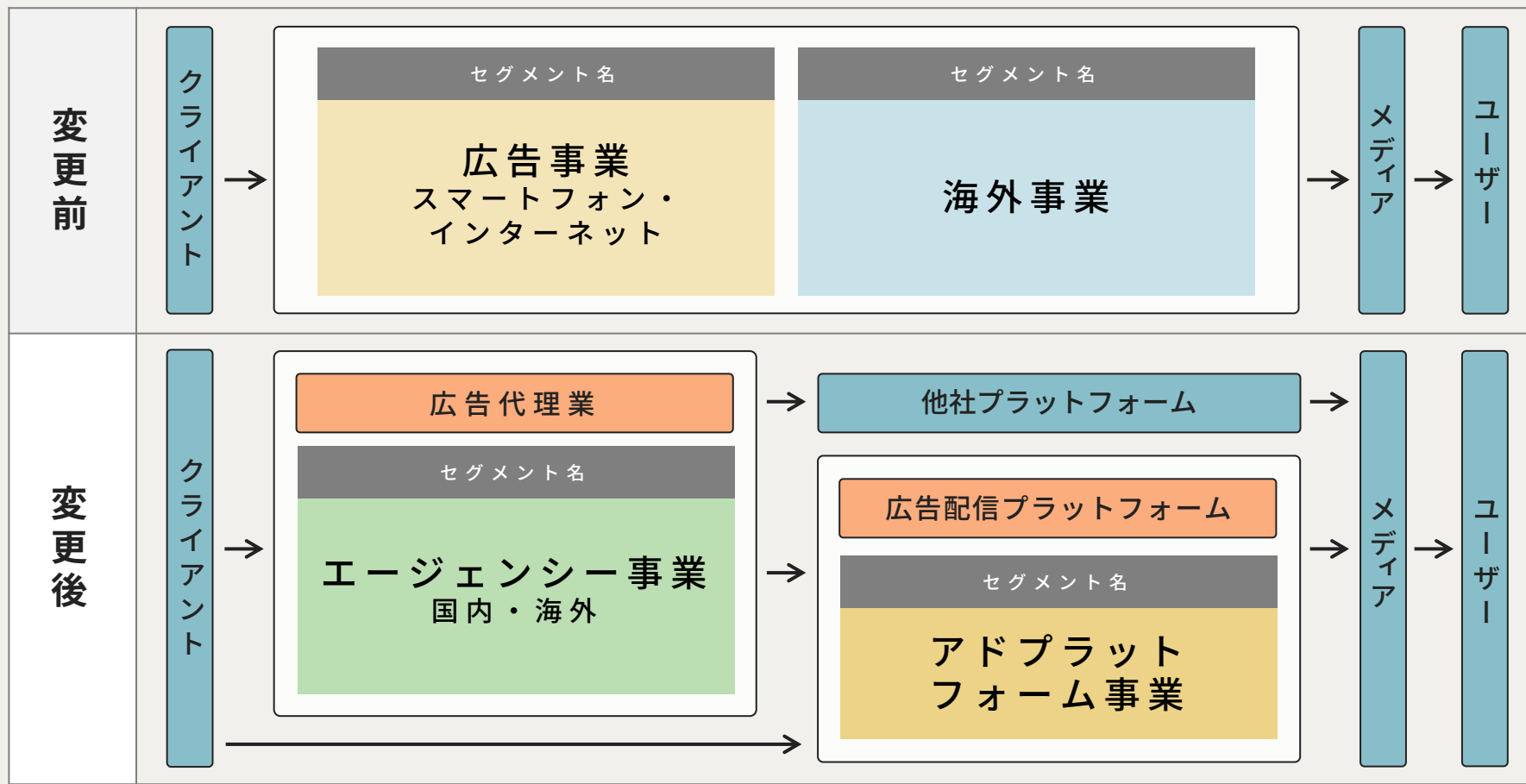
会計期間	会計監査人による監査の有無	国内会社・海外子会社	2021年				2022年				
			1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	
2022年12月期 (当期) 「国内会社12ヶ月間」	有 (取扱高を除く)	国内会社 (12ヶ月間)	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	同期間 比較
		海外子会社 (12ヶ月間)	第1四半期	第2四半期	第3四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
2021年12月期 (前期) 「国内会社12ヶ月間」	無 (参考値)	国内会社 (12ヶ月間)	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	同期間 比較
		海外子会社 (12ヶ月間)	第1四半期	第2四半期	第3四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
2022年12月期 (当期) 第4四半期	有 (取扱高を除く)	国内会社 (3ヶ月間)	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	同期間 比較
		海外子会社 (3ヶ月間)	第1四半期	第2四半期	第3四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
2021年12月期 (前期) 第3四半期 「海外子会社3ヶ月間」	無 (参考値)	国内会社 (3ヶ月間)	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	同期間 比較
		海外子会社 (3ヶ月間)	第1四半期	第2四半期	第3四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	

※2021年1月～12月の実績は、2021年12月期（国内会社9ヶ月間、海外子会社12ヶ月間）の実績に2021年3月期第4四半期（2021年1月～3月）の国内会社の実績（取扱高を含む）を加えた数値を参考値として使用しております。

※2021年10月～12月の実績は、2021年12月期第3四半期（国内会社3ヶ月間、海外子会社6ヶ月間）の実績から2021年月7～9月（3ヶ月間）の海外子会社の実績（取扱高を含む）を差し引いた数値を参考値として記載しております。（エージェンシー事業の報告セグメントについては、比較が困難であるため、前年同四半期からの増減額、増減率は記載しておりません。）

報告セグメントの変更

2022年12月期より報告セグメントを、包括的マーケティング支援を行う「エージェンシー事業(国内/海外)」と、UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービスの運営を行う「アドプラットフォーム事業」に変更。



※報告セグメントの国内・海外の切り分けは、変更前（2021年12月期以前）は当社グループ会社の所在地により、変更後（2022年12月期以降）はクライアントの所在地によります。

会社分割(簡易新設分割)による 子会社設立に関するお知らせ

(2022年11月25日開示)

2023年1月4日に新設分割により「株式会社ADWAYS DEEE」を新設し、当社のアドプラットフォーム事業に関する権利義務を「株式会社ADWAYS DEEE」に承継させました。

アドプラットフォーム事業の中心であるアフィリエイトサービスにおいては、変化が激しい業界の中で、広告主（クライアント）及び提携メディアの抱えているニーズや課題に十分に対応できていないという課題があり、このような課題にいち早く対応、解決するには、経営判断および事業判断を迅速にする事ができる子会社で事業を展開する事が必要だと判断し、子会社を設立いたしました。

※本件についての詳細は、当社ホームページをご覧ください。

Chapter1 : Full Year FY2022 results

1.

通期
業績

2022年12月期業績予想と実績

[単位：百万円]

	取扱高 (参考値)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
業績予想※1	59,000	13,800	1,420	1,690	1,360
実績	59,590	13,415	1,671	1,506	2,536
達成率※2	101.1%	97.2%	117.7%	89.1%	186.5%

※1「業績予想」とは2022年5月31日付け「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて発表した数値。 ※2小数点第2位を四捨五入。

営業利益

投資はほぼ計画通りに順調に進んだものの、投資には含まれない販管費が計画を下回った事により、営業利益が増加。

経常利益

当社グループの持分法適用会社であった MU CHARM LABORATORY LIMITEDにおいて事業の継続を断念したことにより貸倒引当金繰入（営業外）の計上などがあり経常利益が減少。（2022年6月28日・2022年12月27日開示）

経常利益・親会社株主に 帰属する当期純利益

当社グループ保有の上場有価証券の一部売却に伴う特別利益計上のため当期純利益が増加。（2022年4月28日・2022年5月31日・2022年12月27日開示）

人・事業・機械への投資

2022年12月期 投資計画：約8.4億円

事業年度	投資予定額	業績予想の営業利益	投資前営業利益
2022年12月期	約8.4億円	14.2億円	約22.6億円

2022年12月期 投資実績：約8.0億円

事業年度	実際の投資額	営業利益	投資前営業利益
2022年12月期	約8.0億円	16.7億円	約24.7億円



人への投資
(人員強化)

計画 約3.9億円 → 実績 約3.9億円



事業への投資
(事業拡大)

計画 約1.4億円 → 実績 約1.3億円



機械への投資
(業務効率化)

計画 約3.1億円 → 実績 約2.8億円

広告事業の地盤固めが順調に進行。

当期業績と前期比較

[単位：百万円]

	2022年12月期 実績	前期比 2021年1月～12月 (参考値)		
		参考値	参考増減額	参考増減率
取扱高	59,590	56,055	+3,535	+6.3%
売上高	13,415	12,662	+753	+5.9%
売上総利益	10,806	10,078	+727	+7.2%
販管費	9,135	8,282	+852	+10.3%
営業利益	1,671	1,796	▲125	▲7.0%
経常利益	1,506	2,227	▲721	▲32.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,536	1,546	+990	+64.1%

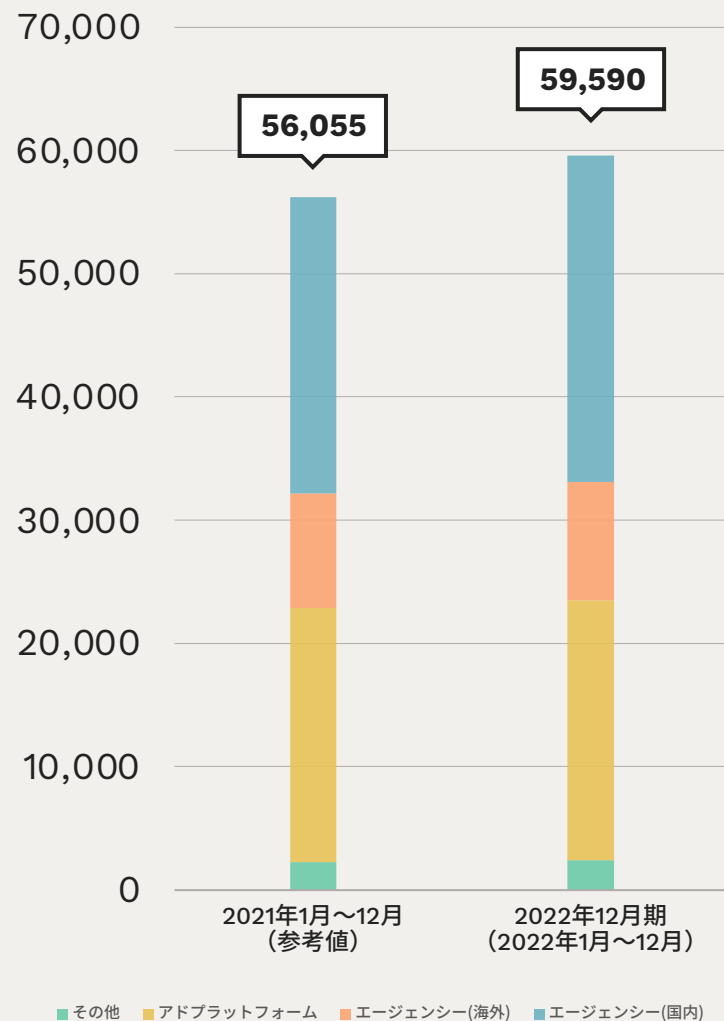
取扱高 前期(2021年1月～12月)比 **35億35百万円の増加** (6.3%増)

営業利益 前期(2021年1月～12月)比 **1億25百万円の減少** (7.0%減)

※前期比とは2021年12月期第3四半期の累計に、2021年3月期第4四半期(会計期間)の国内子会社を加えた2021年1月～2021年12月の数値です。

取扱高の前期比較

単位：百万円



エージェンシー・・・360億78百万円

(アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援事業)

前期(2021年1月～12月)比：17億90百万円増 (5.2%増)

国内・・・264億47百万円

前期(2021年1月～12月)比：15億16百万円増 (6.1%増)

ゲームアプリ、ECカテゴリの不調があったものの、マンガアプリ、博報堂DYグループとの協業案件などの伸長があり増加。

海外・・・96億31百万円

前期(2021年1月～12月)比：2億73百万円増 (2.9%増)

新型コロナウイルス感染症による外出禁止等の影響で中国のアプリ広告が不調であったものの、台湾でのブランド広告が伸長した事により増加。

アドプラットフォーム・・・210億96百万円

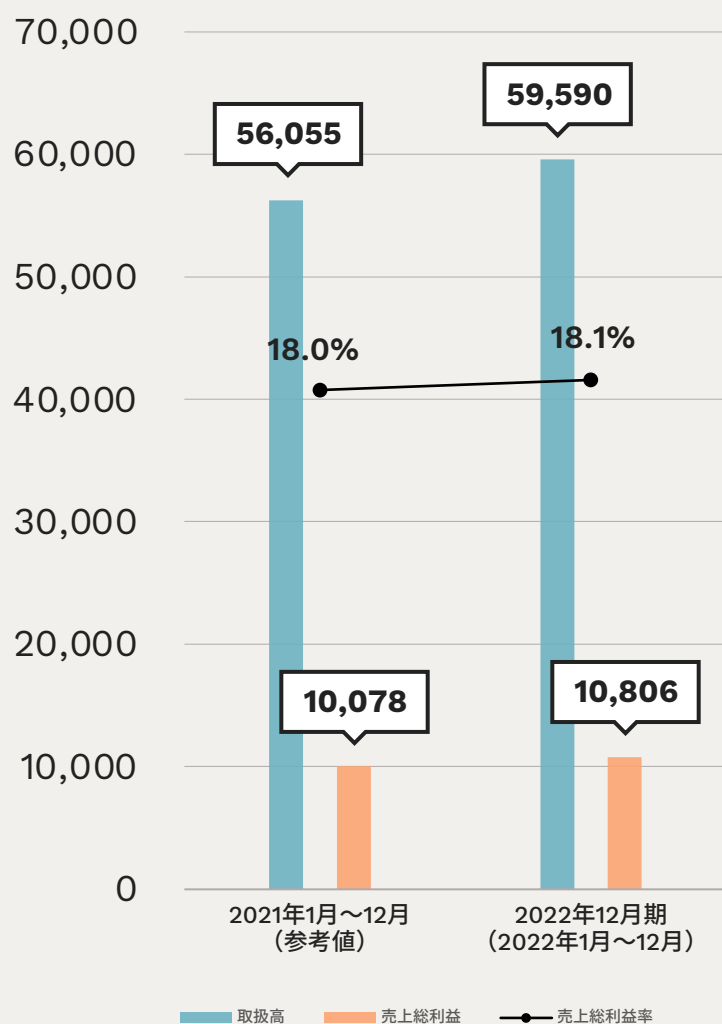
(UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービス事業)

前期(2021年1月～12月)比：27百万円増 (0.1%増)

ECカテゴリのアフィリエイトは減少したものの、UNICORNとアプリのアフィリエイトが伸長した事により増加。金融のアフィリエイトはほぼ横ばい。

売上総利益の前期比較

単位：百万円



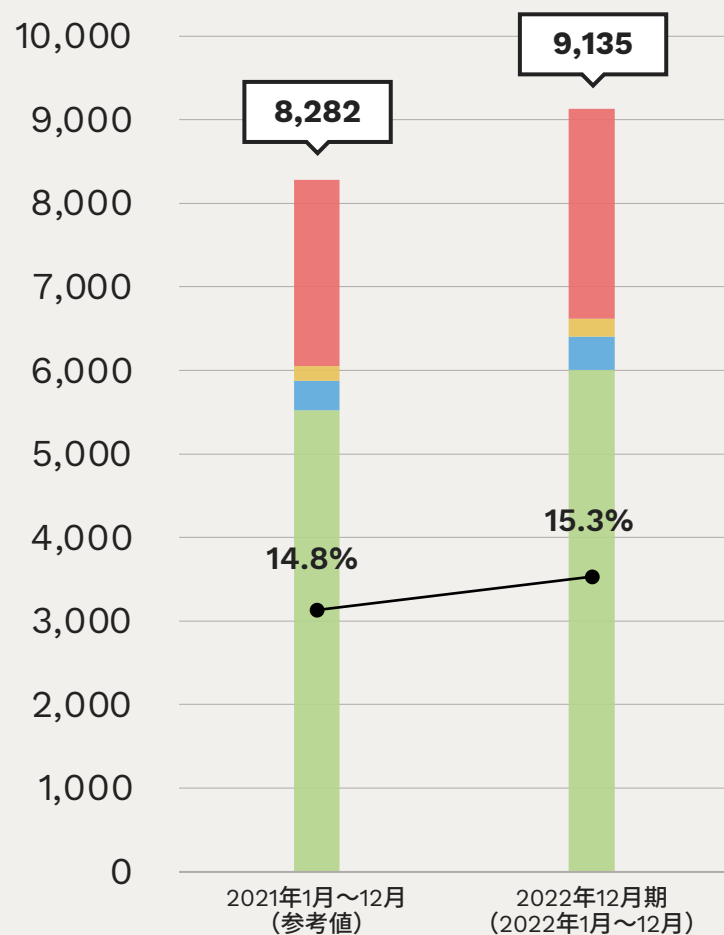
当期売上総利益 108億6百万円

前期比 : 7億27百万円増 (7.2%増)

売上総利益率 : 18.1% (0.1ポイント増)

販管費の前期比較

単位：百万円



当四半期販管費 91億35百万円

前期比 : 8億52百万円増 (10.3%増)

販管費率 : 15.3% (0.5ポイント増)

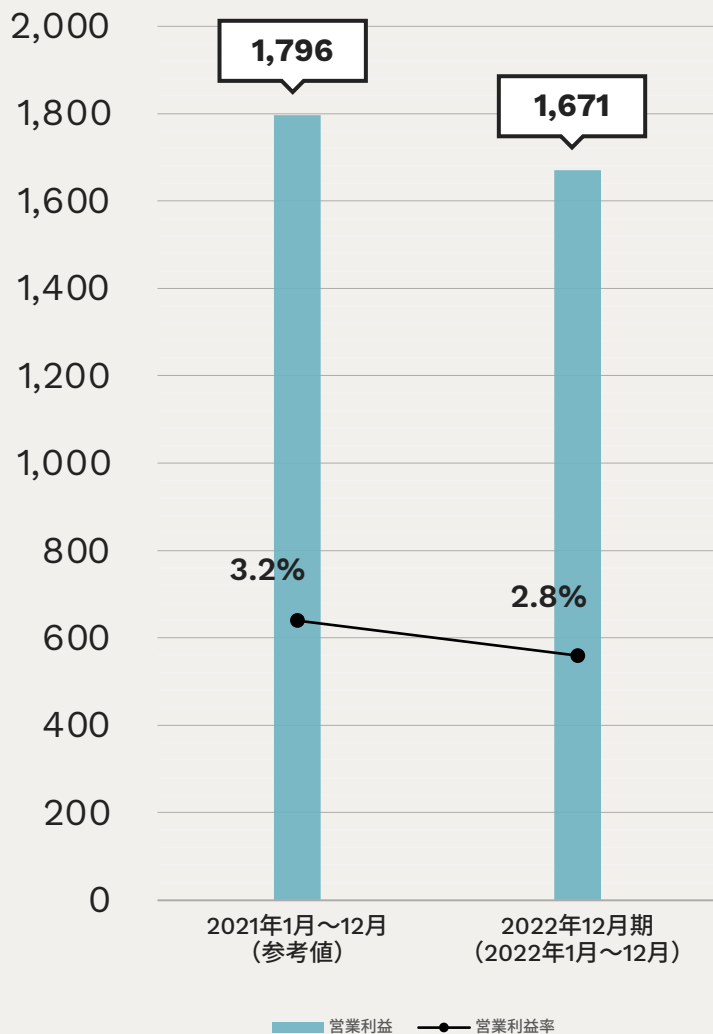
主な増加要因

・人件費・採用教育費の増加 : 約4億79百万円増

人件費・採用教育費 地代家賃 減価償却費
その他経費 販管費率

営業利益の前期比較

単位：百万円



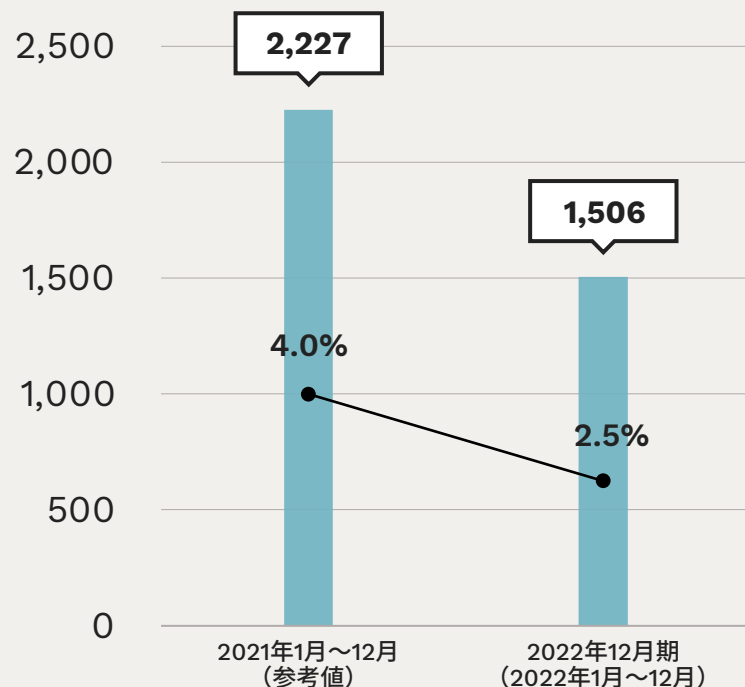
当期営業利益 16億71百万円

前期比 : 1億25百万円減 (7.0%減)

営業利益率 : 2.8% (0.4ポイント減)

経常利益の 前期比較

単位：百万円



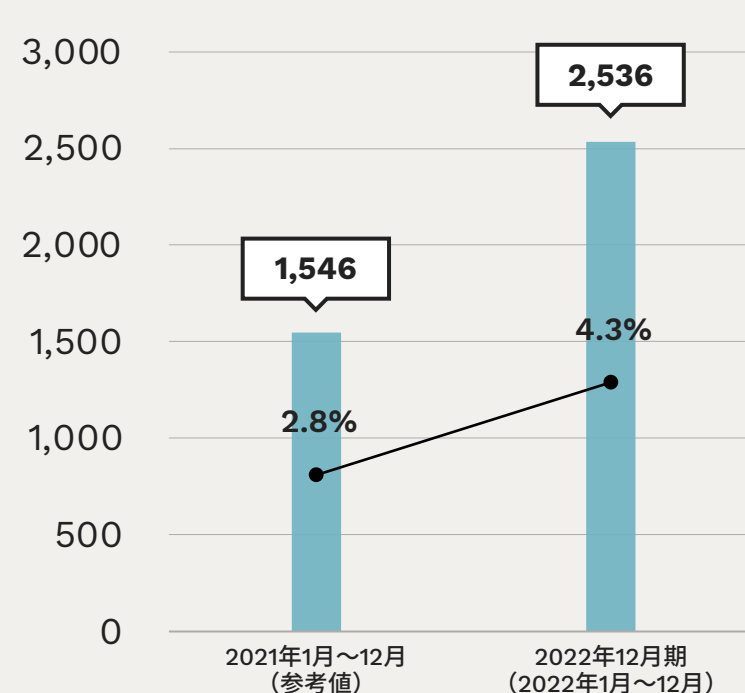
当期経常利益 15億6百万円

前期比 : 7億21百万円減 (32.4%減)

経常利益率 : 2.5% (1.5ポイント減)

親会社株主に帰属する 四半期純利益の 前期比較

単位：百万円



**親会社株主に帰属する
当期純利益 25億36百万円**

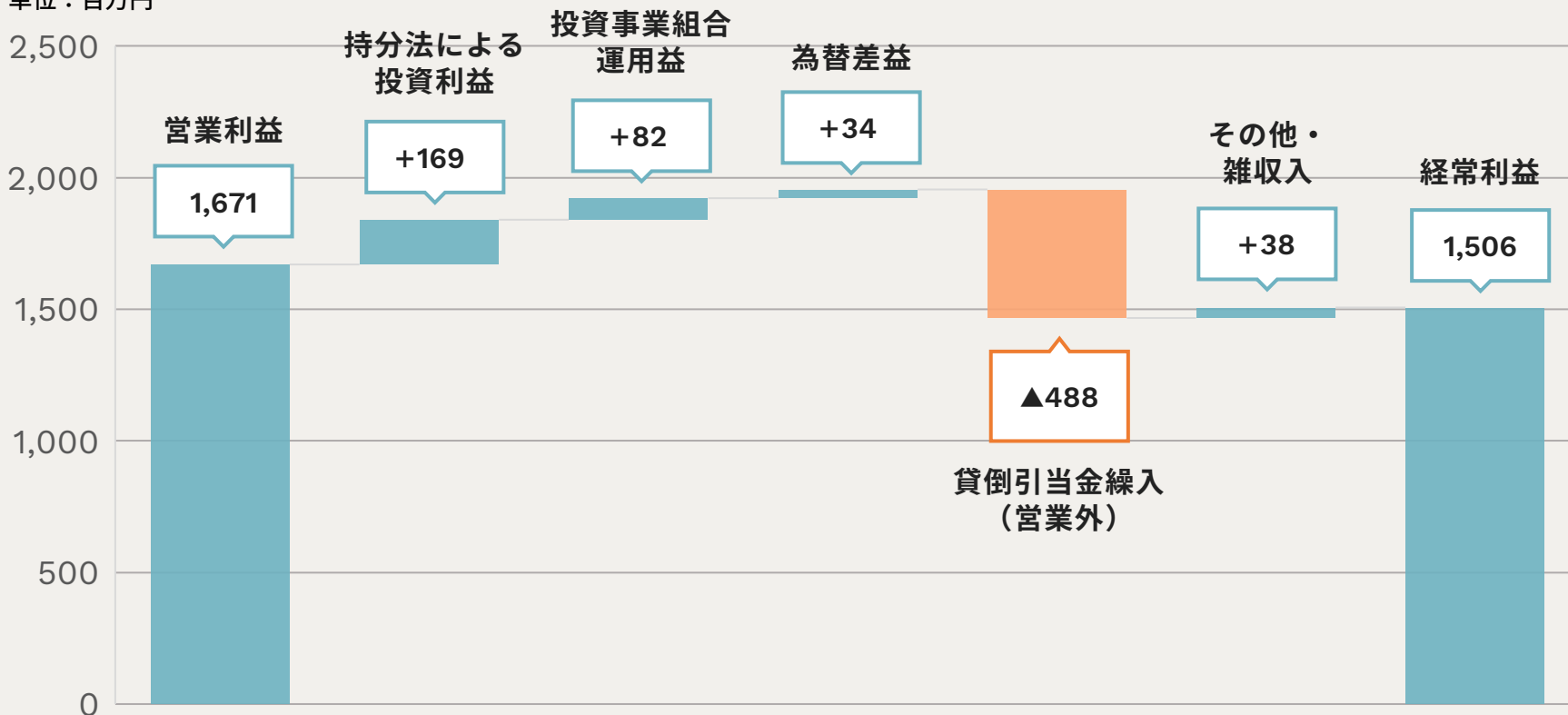
前期比 : 9億90百万円増 (64.1%増)

利益率 : 4.3% (1.5ポイント増)

経常利益の推移

当社グループの持分法適用会社である MU CHARM LABORATORY LIMITEDにおいて事業の継続を断念したことなどにより、貸倒引当金繰入（営業外）4億88百万円を計上しております。（2022年6月28日・2022年12月27日開示）

単位：百万円



持分法による投資利益 . . . 1億69百万円

投資事業組合運用益 82百万円

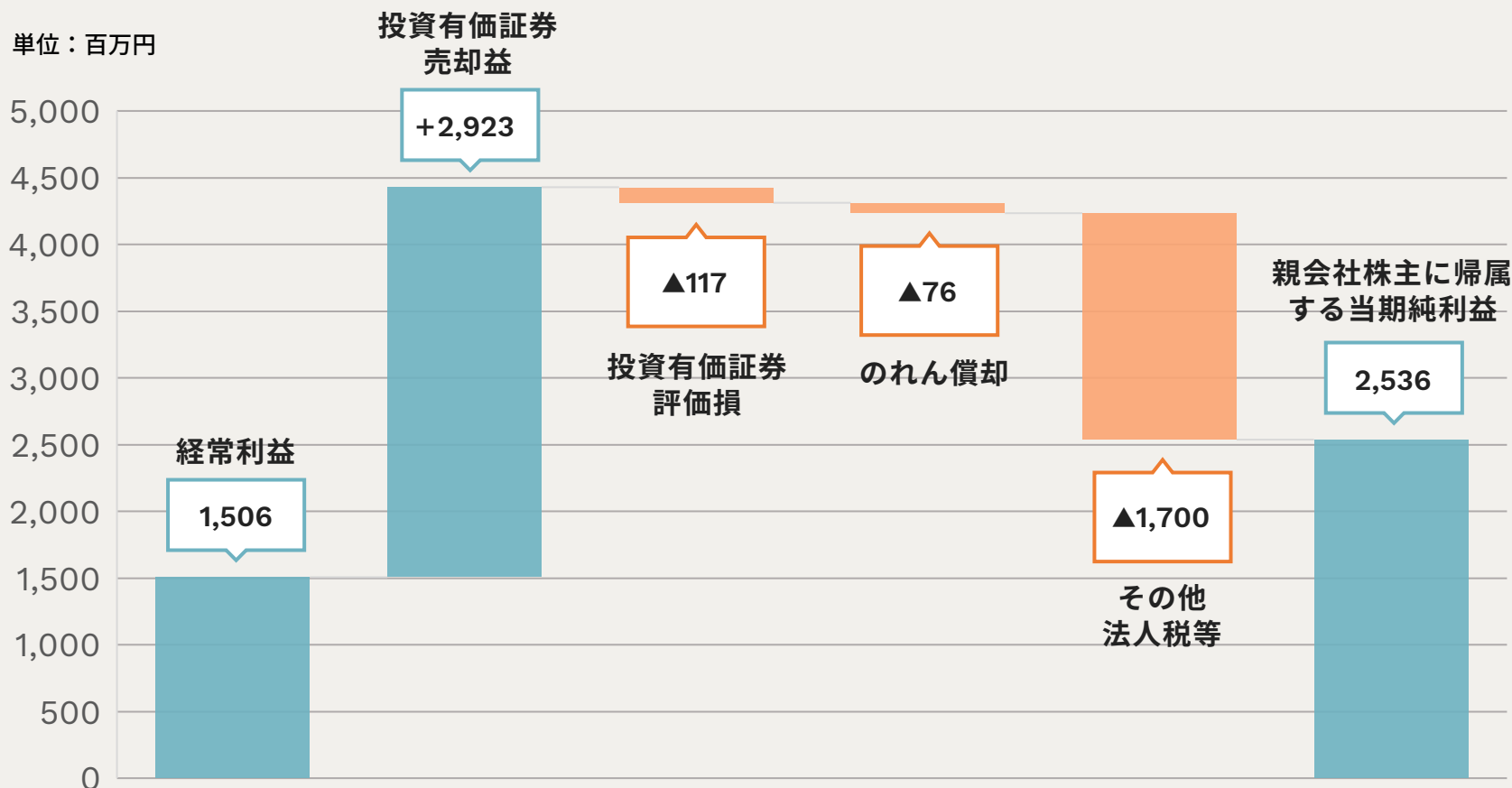
為替差益 34百万円

その他・雑収入 38百万円

貸倒引当金繰入 ▲4億88百万円
(営業外)

親会社株主に帰属する当期純利益の推移

当社グループ保有の上場有価証券の一部を売却したことなどに伴い、特別利益（投資有価証券売却益）29億23百万円を計上しております。（2022年4月28日・2022年5月31日・2022年12月27日開示）



投資有価証券売却益 . . . 29億23百万円

投資有価証券評価損 . . . ▲1億17百円

のれん償却 ▲76百万円

その他法人税等 ▲17億円

Chapter2 : **Fourth quarter results**

2.

第4
四半期
の業績

当四半期の業績と 前年同四半期・前四半期比較

[単位：百万円]

	2022年 12月期 第4四半期 (2022年10月～12月)	前年同四半期比 2021年10月～12月 (参考値)			前四半期比 2022年12月期第3四半期 (2022年7月～10月)		
		参考値	参考増減額	参考増減率	実績	増減額	増減率
取扱高	14,417	14,634	▲217	▲1.5%	14,368	+48	+0.3%
売上高	3,468	3,320	+147	+4.5%	3,215	+253	+7.9%
売上総利益	2,827	2,821	+6	+0.2%	2,585	+242	+9.4%
販管費	2,346	2,463	▲116	▲4.7%	2,345	+0	+0.0%
営業利益	481	358	+123	+34.4%	239	+241	+100.6%
経常利益	493	433	+59	+13.7%	303	+189	+62.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,127	209	+918	+438.8%	453	+673	+148.4%

取扱高 前年同四半期比 2億17百万円の減少 (1.5%減)
前四半期比 48百万円の増加 (0.3%増)

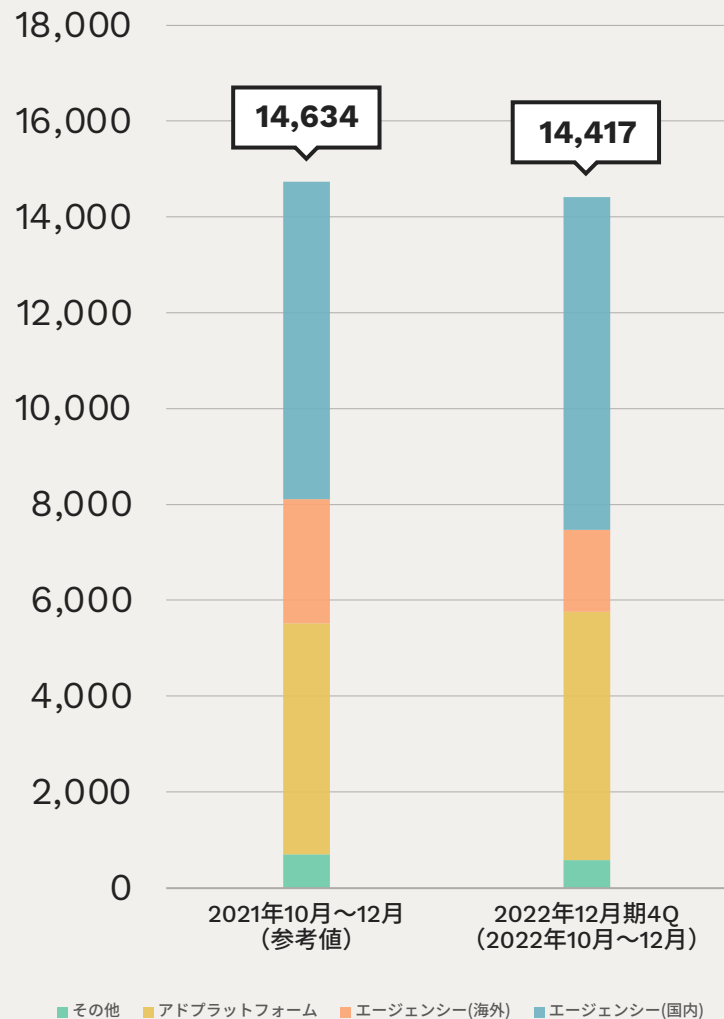
営業利益 前年同四半期比 1億23百万円の増加 (34.4%増)
前四半期比 2億41百万円の増加 (100.6%増)

※前年同四半期比とは2021年12月期第3四半期（海外子会社6ヶ月間）から、海外子会社の7月～9月を差し引いた数値です。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

取扱高の前年同四半期比較

単位：百万円



エージェンシー・・・86億46百万円

(アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援事業)

国内・・・69億34百万円

マンガとゲームに分類されないアプリが伸長。一部の大型クライアントの方針変更によりマンガアプリ、ECカテゴリについては減少。

海外・・・17億11百万円

前年同四半期に一時的に大きく伸長した台湾のブランド事業の反動減があるも、中国についてはアプリ広告などが伸長。

※決算期の変更に伴い、前年同四半期にあたる2021年12月期3Qは海外子会社が6ヶ月間となり、エージェンシー事業については、報告セグメントの比較が困難であるため、前年同四半期からの増減額、増減率は記載しておりません。

アドプラットフォーム・・・51億82百万円

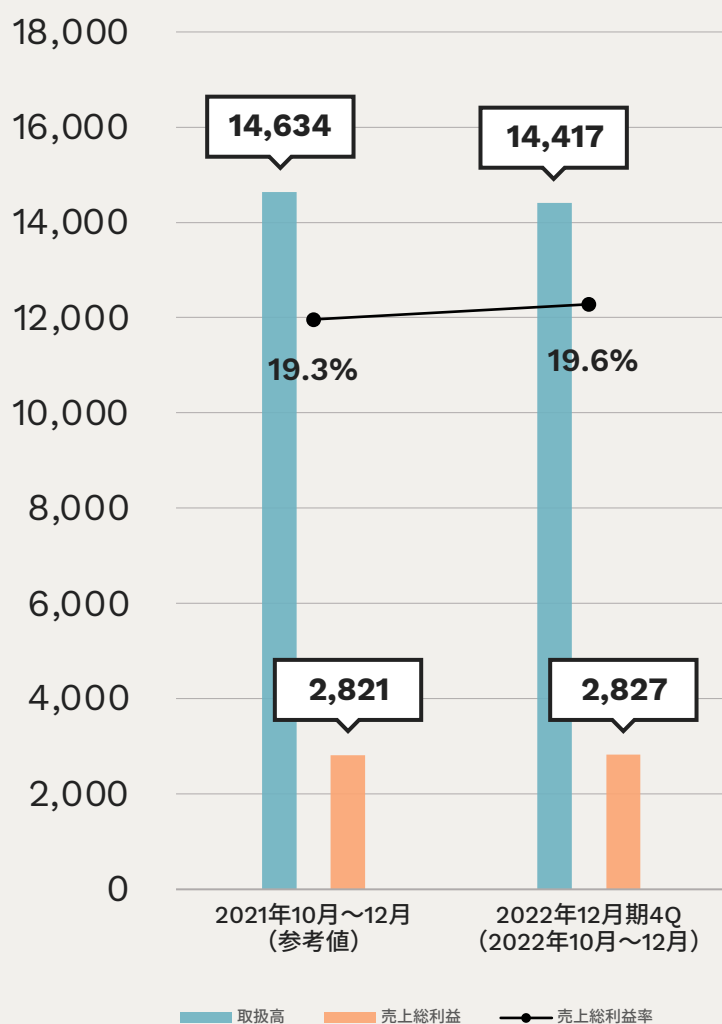
(UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービス事業)

前年同四半期比：1億47百万円減(2.8%減)

アプリのアフィリエイトとUNICORNが伸長したものの、ECカテゴリのアフィリエイトの取扱高が減少。金融のアフィリエイトは微増。

売上総利益の前年同四半期比較

単位：百万円



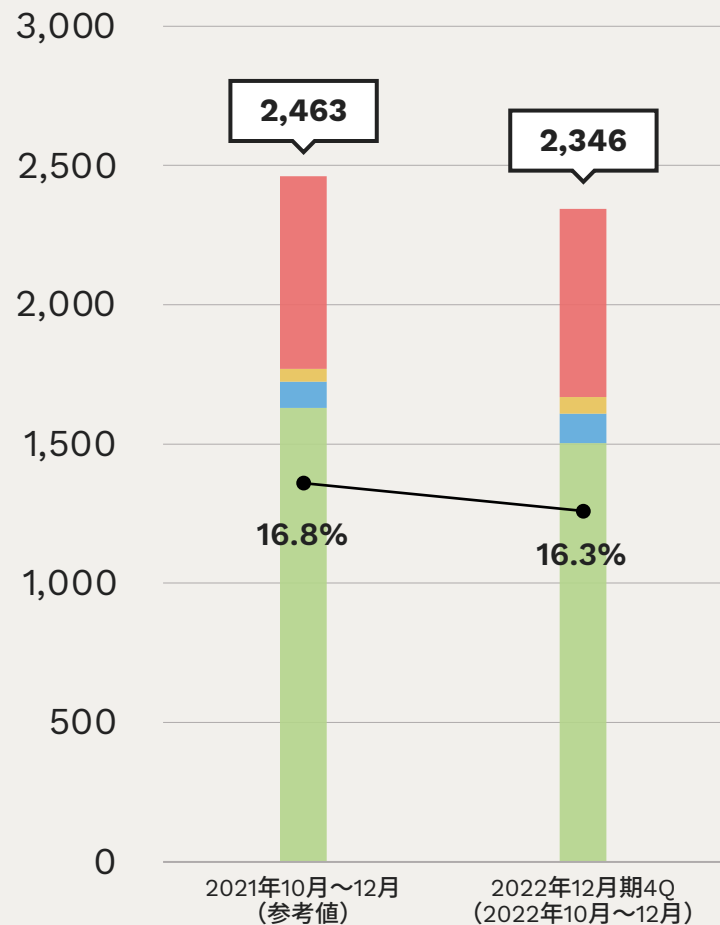
当四半期売上総利益 28億27百万円

前年同四半期比：6百万円増（0.2%増）

売上総利益率：19.6%（0.3ポイント増）

販管費の前年同四半期比較

単位：百万円



当四半期販管費 23億46百万円

前年同四半期比：1億16百万円減（4.7%減）

販管費率：16.3%（0.5ポイント減）

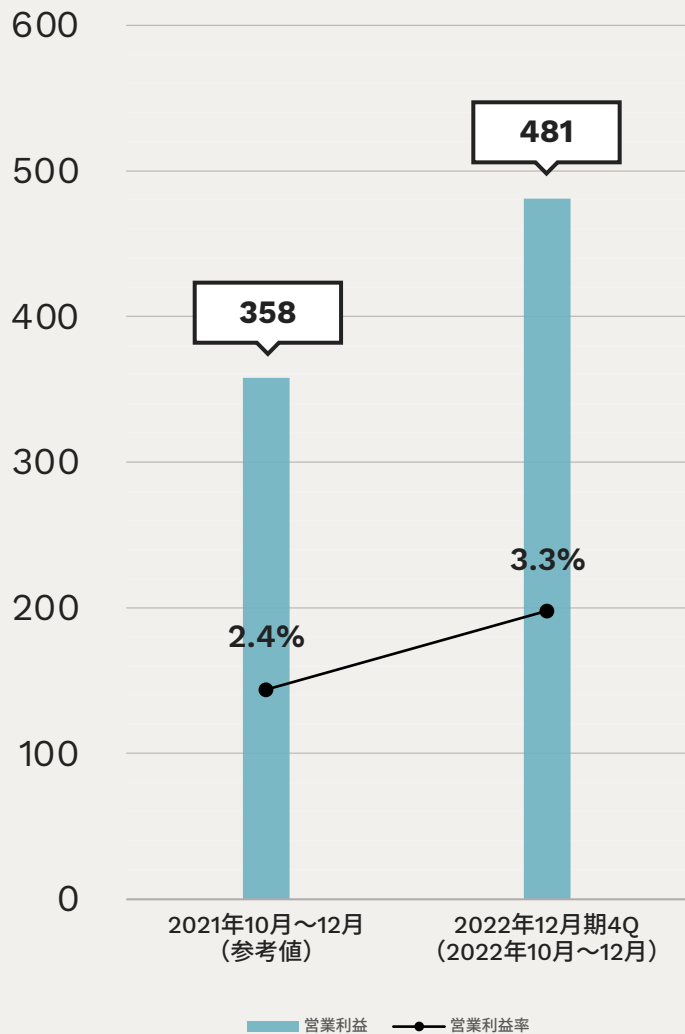
主な増加要因

・人件費・採用教育費の増加：約1億26百万円減

人件費・採用教育費 地代家賃 減価償却費
その他経費 ● 販管費率

営業利益の前年同四半期比較

単位：百万円



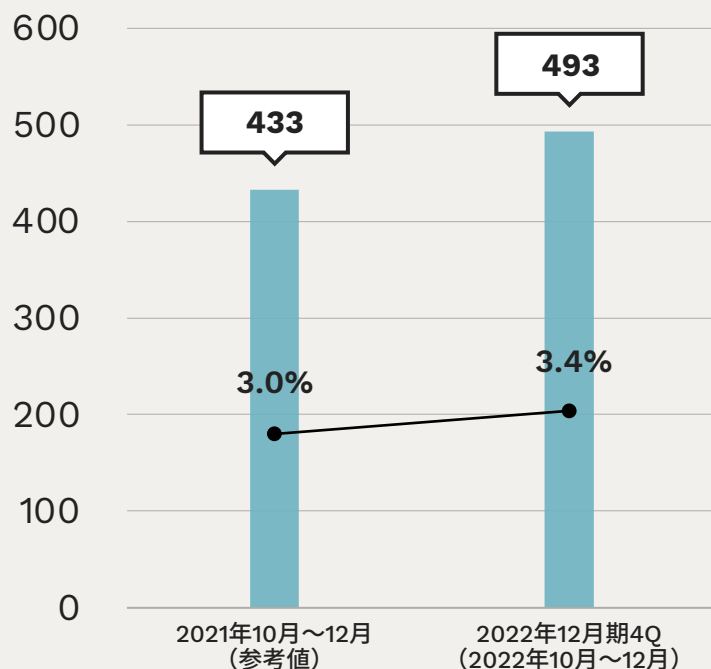
当四半期営業利益 4億81百万円

前年同四半期比：1億23百万円増（34.4%増）

営業利益率：3.3%（0.9ポイント増）

経常利益の 前年同四半期比較

単位：百万円



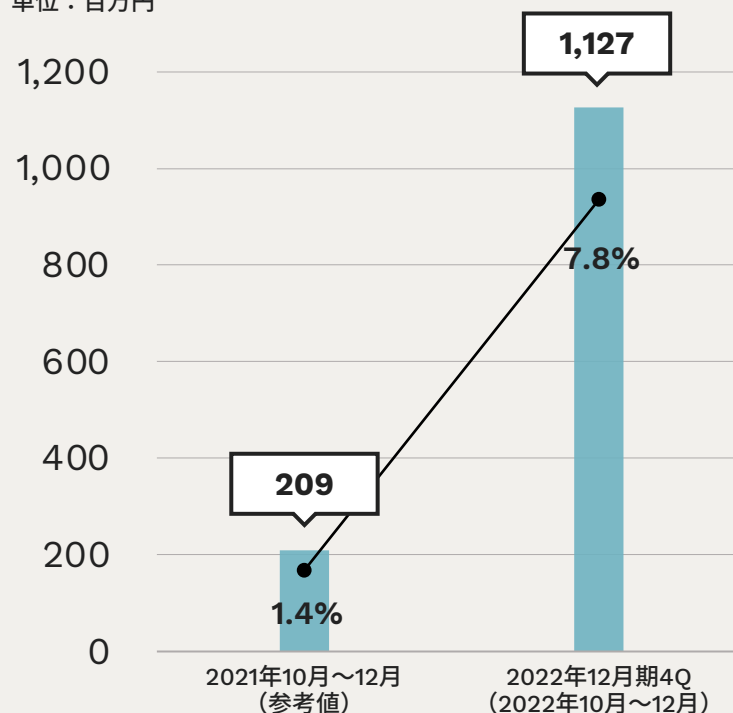
当四半期経常利益 4億93百万円

前年同四半期比：59百万円増 (13.7%増)

経常利益率：3.4% (0.4ポイント増)

親会社株主に帰属する 四半期純利益の 前年同四半期比較

単位：百万円



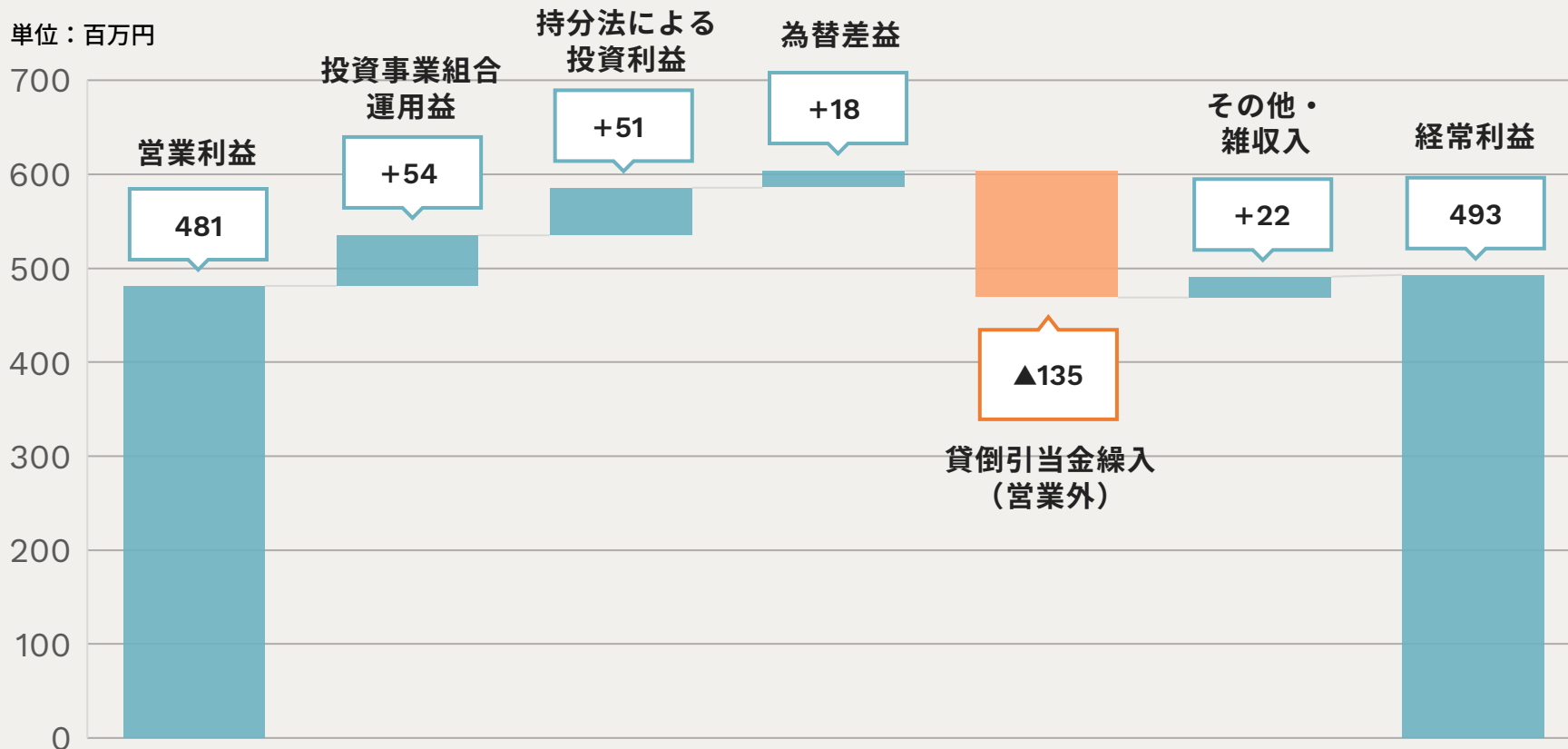
**親会社株主に帰属する
当四半期純利益 11億27百万円**

前年同四半期比：9億18百万円増 (438.8%増)

利益率：7.8% (6.4ポイント増)

経常利益の推移

当社グループの持分法適用会社である MU CHARM LABORATORY LIMITEDにおいて事業の継続を断念したことなどにより、貸倒引当金繰入（営業外）1億35百万円を計上しております。（2022年12月27日開示）



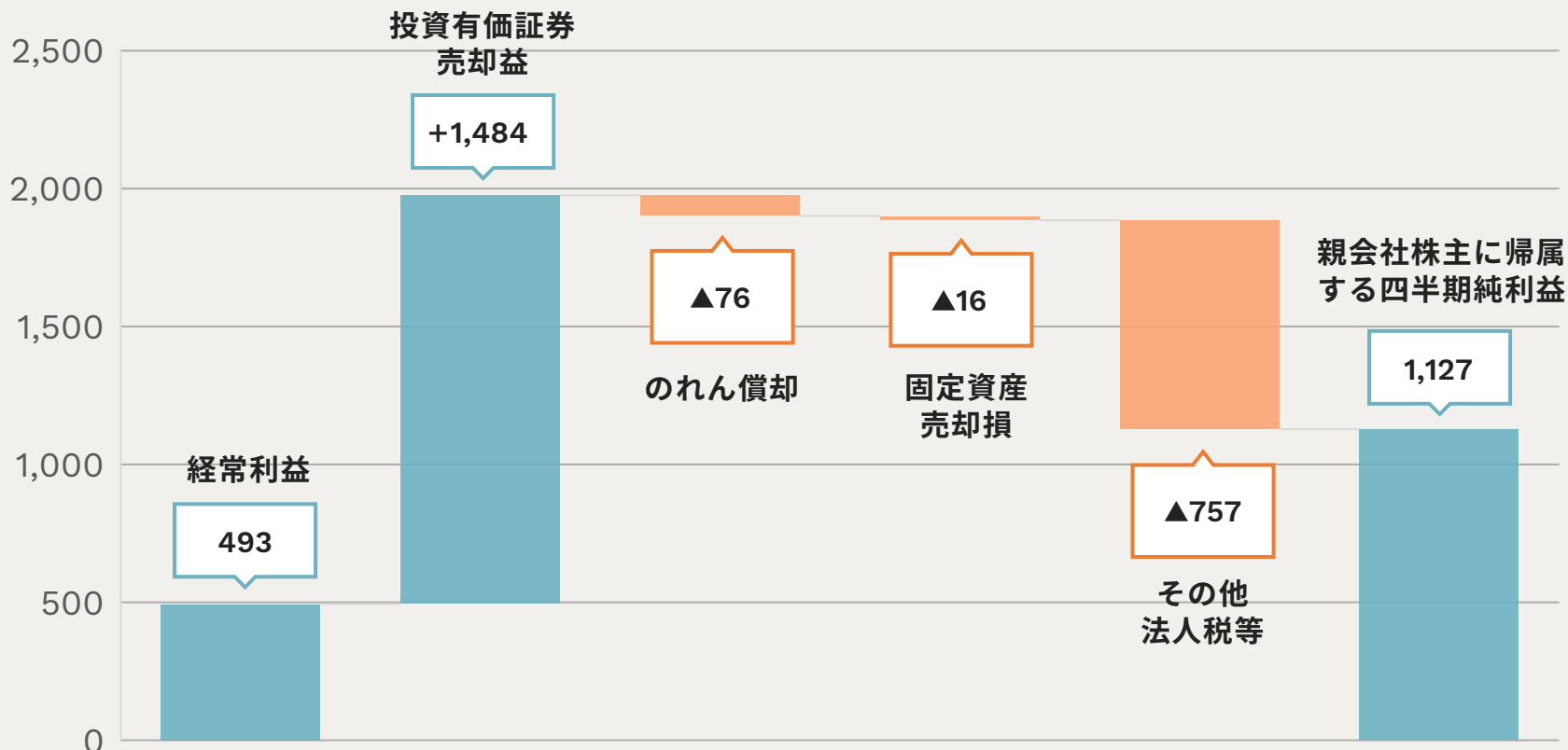
投資事業組合運用益 54百万円
 持分法による投資利益 51百万円
 為替差益 18百万円
 その他・雑収入 22百万円

貸倒引当金繰入 ▲1億35百万円
 (営業外)

親会社株主に帰属する四半期純利益の推移

当社グループ保有の上場有価証券の一部を売却したことなどに伴い、特別利益（投資有価証券売却益）14億84百万円を計上しております。（2022年12月27日開示）

単位：百万円



投資有価証券売却益 14億84百万円

のれん償却 ▲76百万円

固定資産売却損 ▲16百万円

その他法人税等 ▲7億57百万円

3.

Chapter 3 : Shareholder returns

株
還

主
元

株主還元

2022年12月期 期末配当 1株当たり **14円10銭**

配当方針

2022年12月期の普通配当は、配当性向22%、もしくは1株当たり2円80銭のどちらか高い方を目的としております。配当性向22%から算出される1株当たり配当金14円10銭が2円80銭より高いため、普通配当を14円10銭といたします。

3ヶ年(2021年12月期～2023年12月期)の配当方針

第22期

2021年12月期

配当性向21%

もしくは

1株当たり2円70銭

の高い方

第23期

2022年12月期

配当性向22%

もしくは

1株当たり2円80銭

の高い方

第24期

2023年12月期

配当性向23%

もしくは

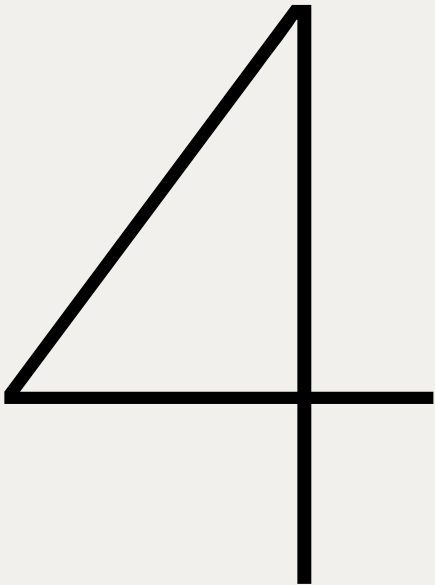
1株当たり2円90銭

の高い方

※ただし、大きな業績の変動や大規模なM & A等の経営環境等の変化によって、配当方針を変更する可能性があることにご留意ください。

業績予想
及び
中期経営
計画

Chapter4 : **Forecasts**



2023年12月期連結業績予想

[単位：百万円]

	取扱高 (参考値)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
2023年12月期 業績予想	64,000	14,000	1,750	1,950	1,350
2022年12月期 実績	59,590	13,415	1,671	1,506	2,536
増減率	+7.4%	+4.4%	+4.7%	+29.4%	▲46.8%

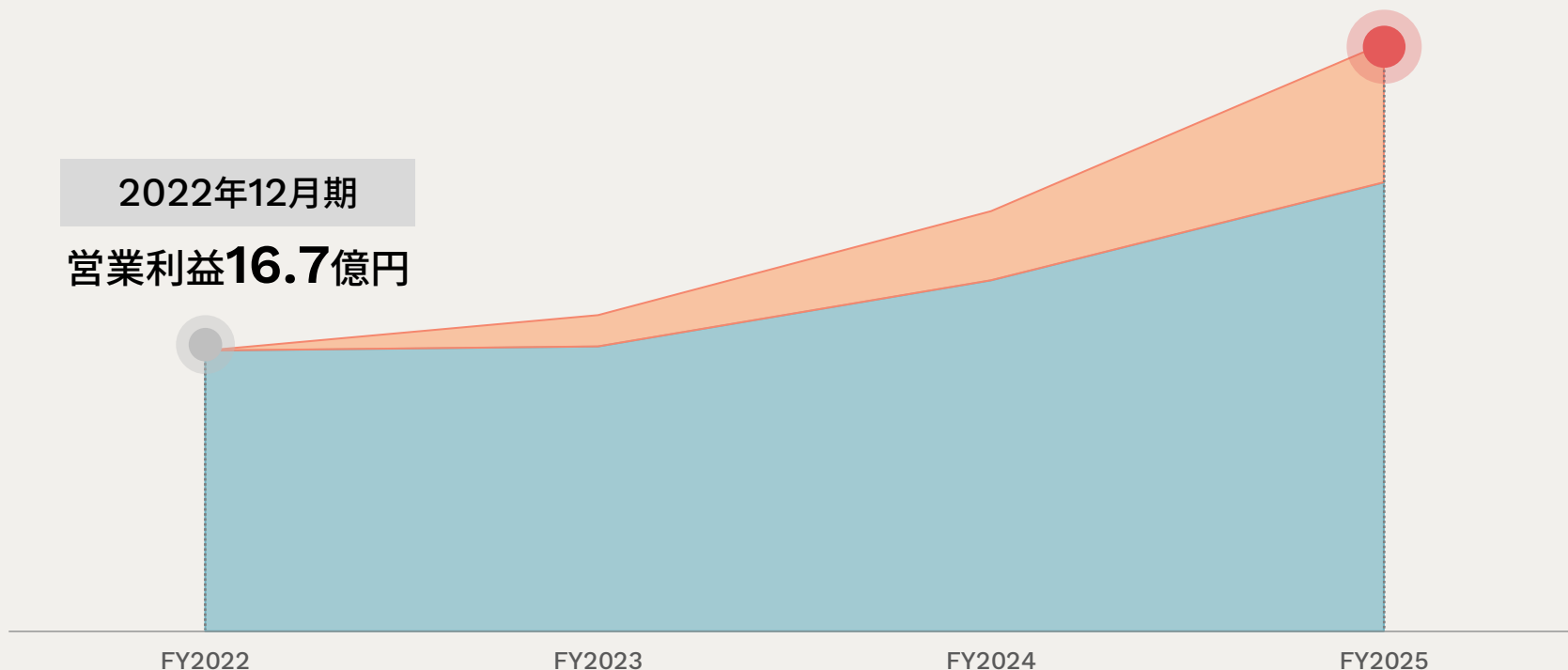
中期経営計画

2025年12月期に営業利益30億円を目指す。

- 新たな市場拡大／新ソリューション／多角化
- 市場浸透

2025年12月期

営業利益**30**億円達成



中期経営計画に関する定性情報等の詳細は、
2023年12月期第1四半期に発表する予定となります。

5.

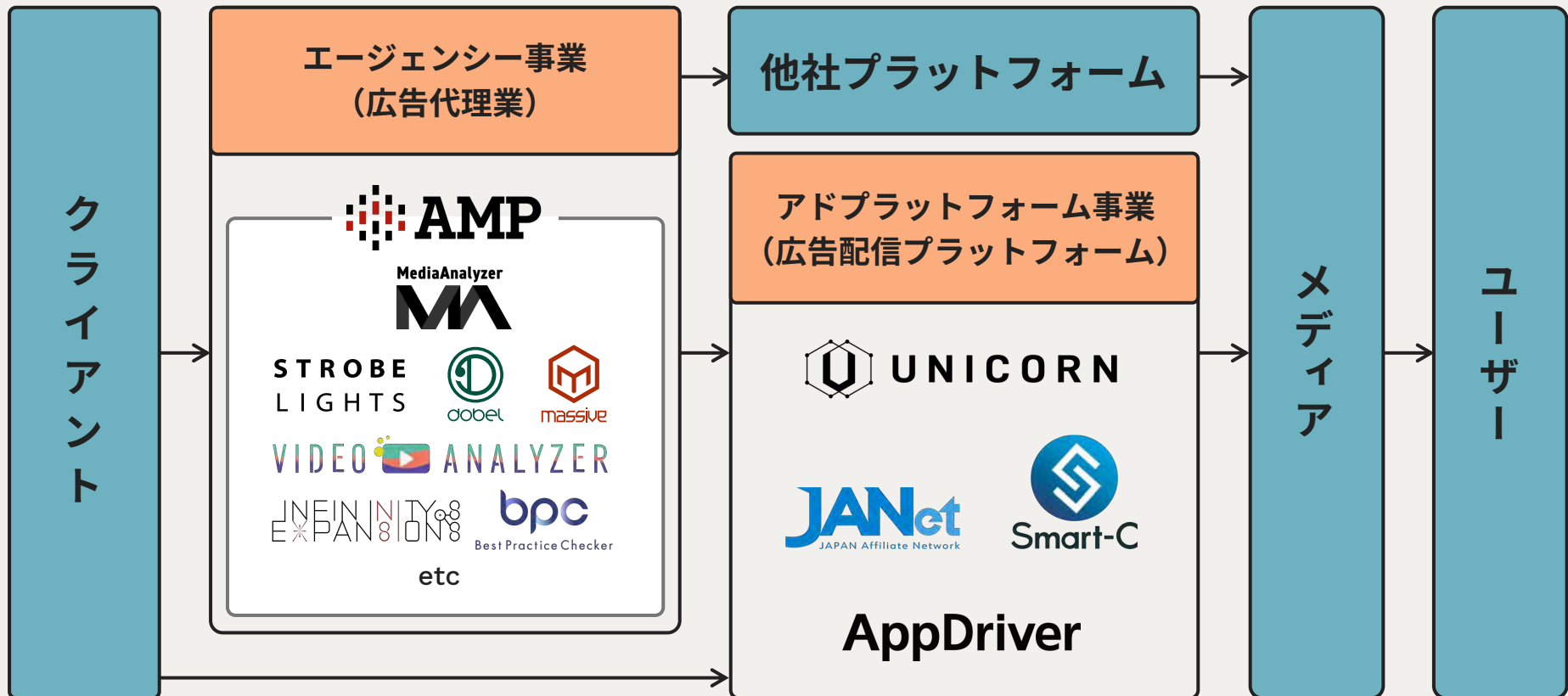
Chapter 5 : business overview

事業概況

広告事業の概況

Fourth quarter

広告事業の分類



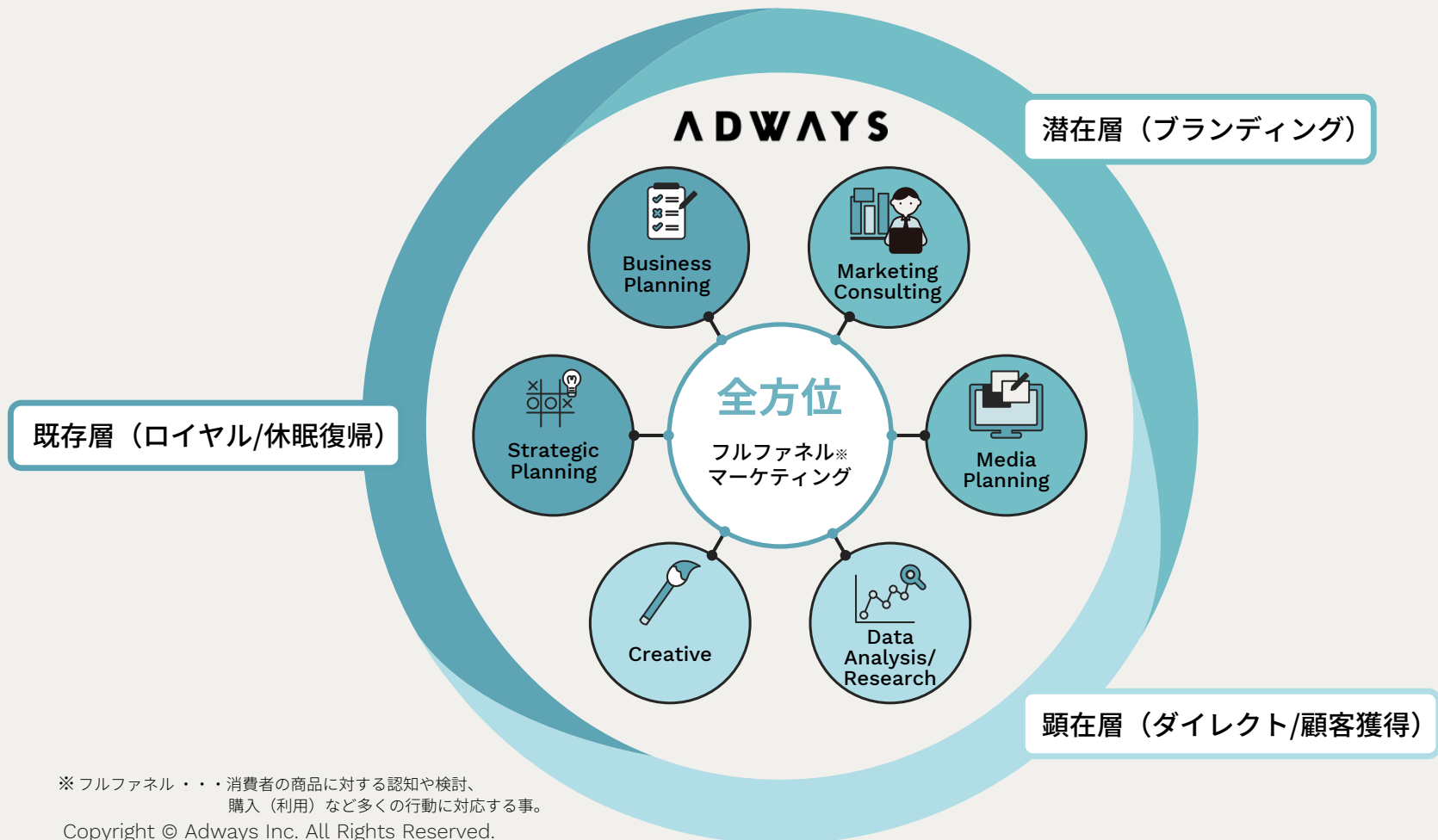
広告事業を、他社サービスの販売も行うエージェンシー事業と、自社の広告配信プラットフォームを運営するアドプラットフォーム事業に分類。

エンジニアリング 事業 (国内・海外)

アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援事業

エージェンシー事業 事業方針

オフライン&オンラインの統合プランニングにより
マーケティング領域を全方位カバー



※ フルファネル・・・消費者の商品に対する認知や検討、
購入 (利用) など多くの行動に対応する事。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

次世代のデジタル広告最大化ソリューション



10年に及ぶアドウェイズの 運用型広告支援の全てを統合

「AMP」は、アドウェイズがこれまでに手掛けた運用型広告支援システム群をすべて統合し、それらに蓄積された10年分のデータを融合させ新開発した中枢システム「AMPコア」を搭載したソリューション群です。



主要メガプラットフォームに 対応した広告最適化プロダクト



アナリティクス シリーズ

Analytics

主要メガプラットフォームへの対応完了

New

Google広告対応

MediaAnalyzer
MA4G

Graphic Equalizing System

Meta広告対応
(Facebook・Instagram)

MediaAnalyzer
MA4M

Creative Sustainer System

Twitter広告対応

MediaAnalyzer
MA4T

Graphic Equalizing System

Creative Sustainer System

TikTok広告対応

MediaAnalyzer
MA4TT

Graphic Equalizing System

Creative Sustainer System

メガプラットフォームの特性に合わせた独自システムを搭載



Graphic Equalizing System

AIが1時間ごとの全データをリアルタイムで24時間365日監視。

広告効果を改善できる兆候のある波形を検知し、最適な配信ロジックを適用します。



Creative Sustainer System

数万の広告クリエイティブのデータ推移をリアルタイムで監視、分析。

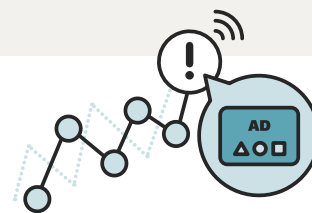
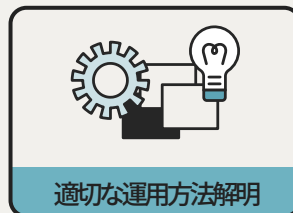
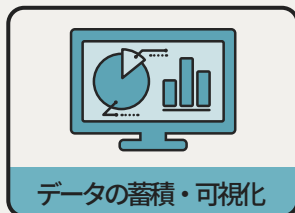
過去の配信データを元に1クリエイティブ単位での将来予測を行い、CPAの高騰の予兆などを検知します。



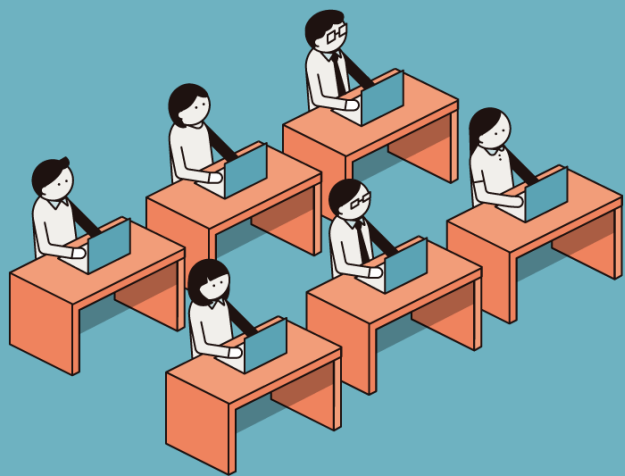
広告の改善最適化ポイントをAIが検知することで、広告効果を改善すると共に、マーケティング戦略に沿った広告配信のコントロールが可能に。

AMPシリーズを活用した 新次元の広告運用

MediaAnalyzer
MA



AIが広告最適化
ポイントを検知



一連のスキームによって、
広告運用業務から“担当者依存”を排除し、
どのようなジャンルの案件でも、
誰もが高いレベルで広告の運用が可能に。

資本提携契約による 戦略的パートナーシップの強化

当社グループが有する「運用力」「クリエイティブ力」「開発力」等と、博報堂DYグループが有するテレビ×デジタルの統合プランニングやマーケティング戦略設計に関するノウハウといった両グループの強みを更に掛け合わせ、より強固な協力体制を構築。

Hakuhodo DY holdings



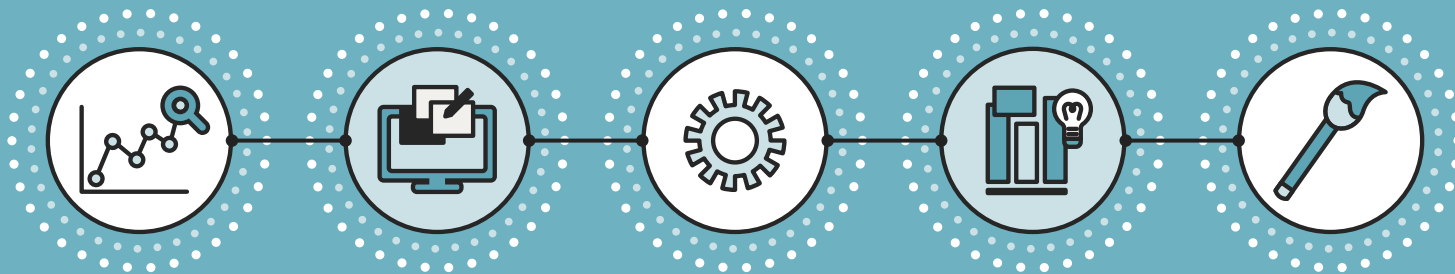
Hakuhodo DY
media partners

テレビ×デジタルの統合プランニングや
マーケティング戦略設計に関するノウハウ



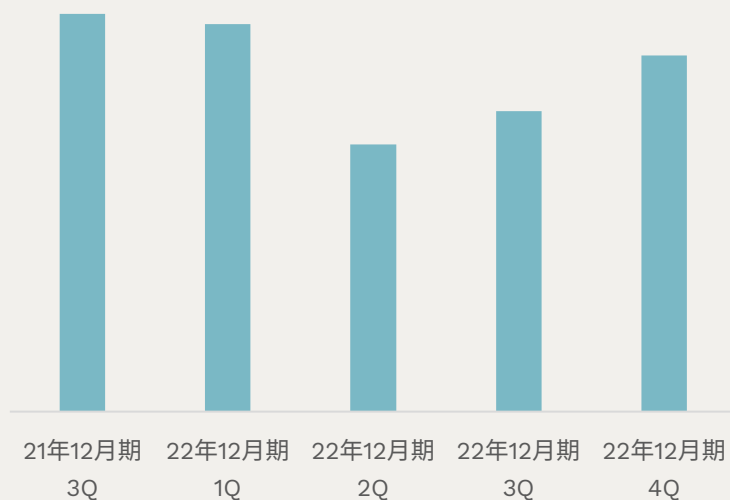
ADWAYS

運用力・クリエイティブ力・開発力

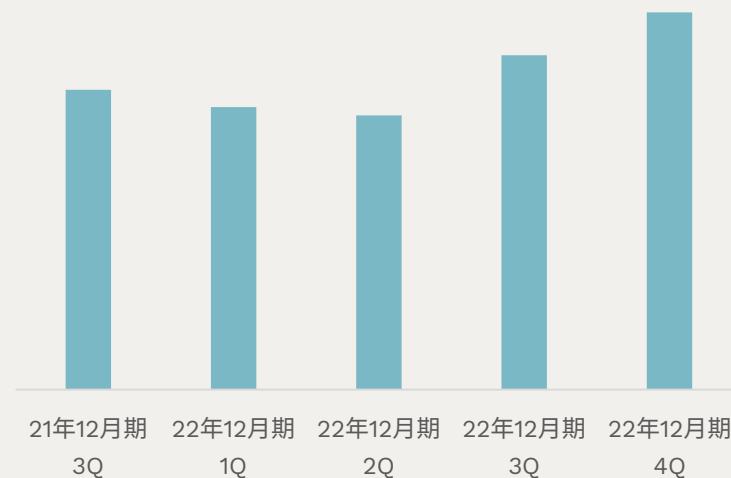


博報堂 D Y グループ 資本業務提携 の進捗

博報堂 D Y グループ 協業
取扱高推移



博報堂 D Y グループ 協業
アカウント数推移

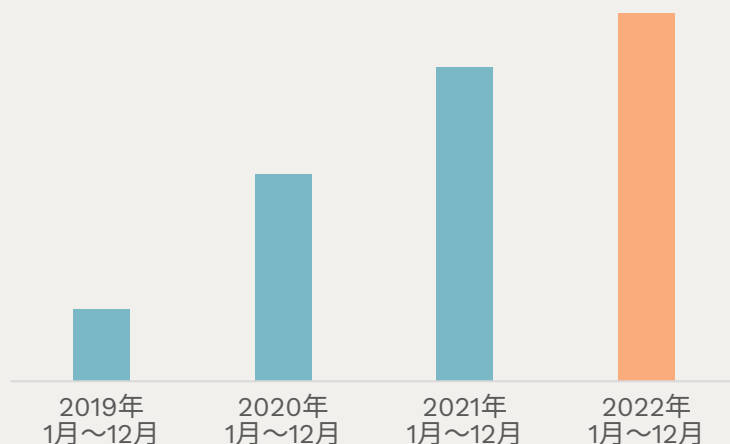


一時的に大きく伸長した前年同四半期（2021年12月期3Q）と比較すると、取扱高は減少したものの、アカウント数は順調に増加。

海外におけるマーケティング支援事業

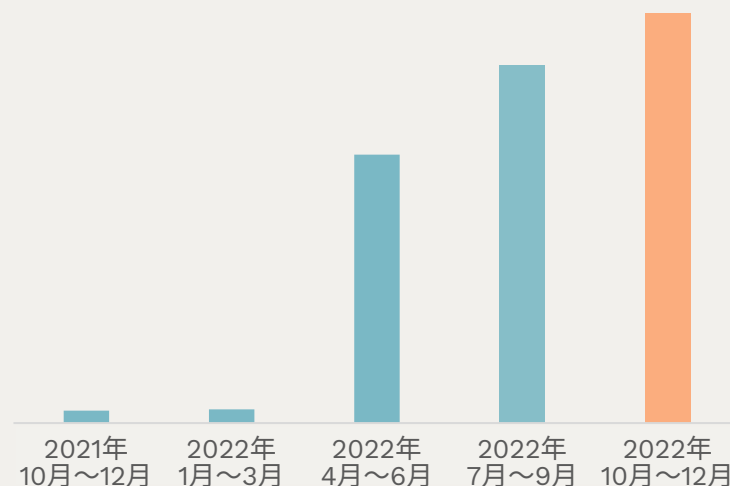
台湾

取扱高推移



中国

OrangeStar 取扱高推移



台湾では、ブランド・ECクライアントへのLINE広告やLINE公式アカウントを活用した「IDEA Push」などLINE広告取扱高が好調に推移。

中国におけるライブコマースをメインとしたEC及びコンテンツマーケティング支援事業「OrangeStar」の取扱高は好調に推移。

アドプラット
フォーラム事業

UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービス事業

アドプラットフォーム事業 事業方針

プロダクトフェーズに合わせた戦略、施策実施



ジャンル拡大、ブランド広告主への取り組み強化



Smart-C

AppDriver

新たな価値創出に向けたプロダクトの再構築



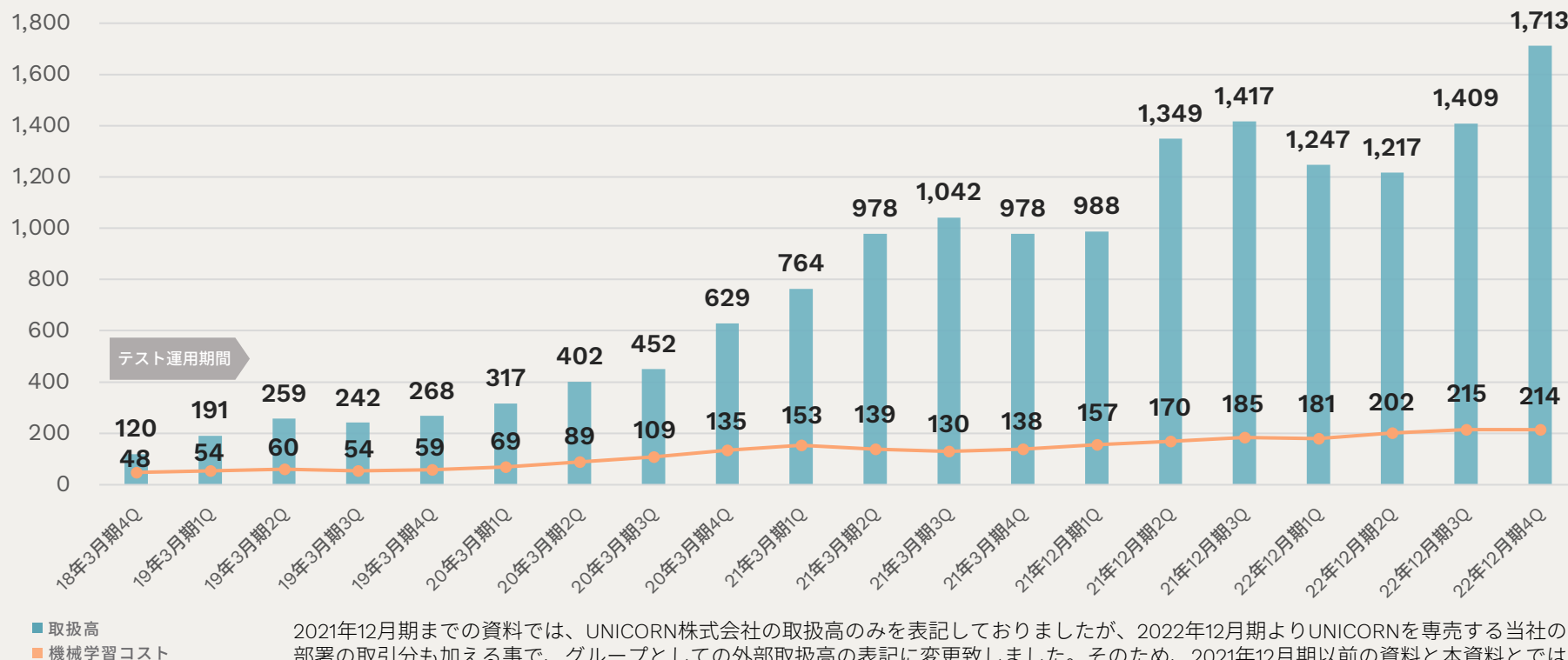
UNICORN
REDEFINE DIGITAL MARKETING.

UNICORNの進捗

Fourth quarter

UNICORNの取扱高／機械学習コスト推移

単位：百万円



2021年12月期までの資料では、UNICORN株式会社の取扱高のみを表記しておりましたが、2022年12月期よりUNICORNを専売する当社の部署の取引分も加える事で、グループとしての外部取扱高の表記に変更致しました。そのため、2021年12月期以前の資料と本資料とでは取扱高が異なります。（他商材も扱う部署の取引分は加えておりません）

取扱高は前年同期比で120%となり、過去最高を大きく更新。

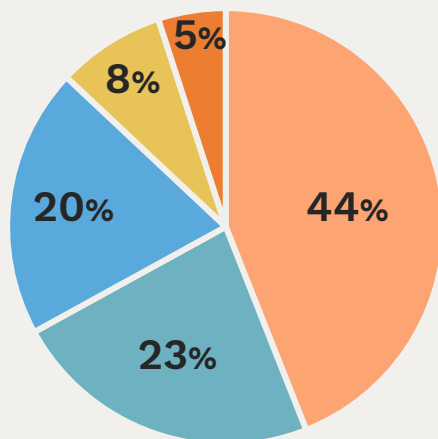
About UNICORN

UNICORNの進捗

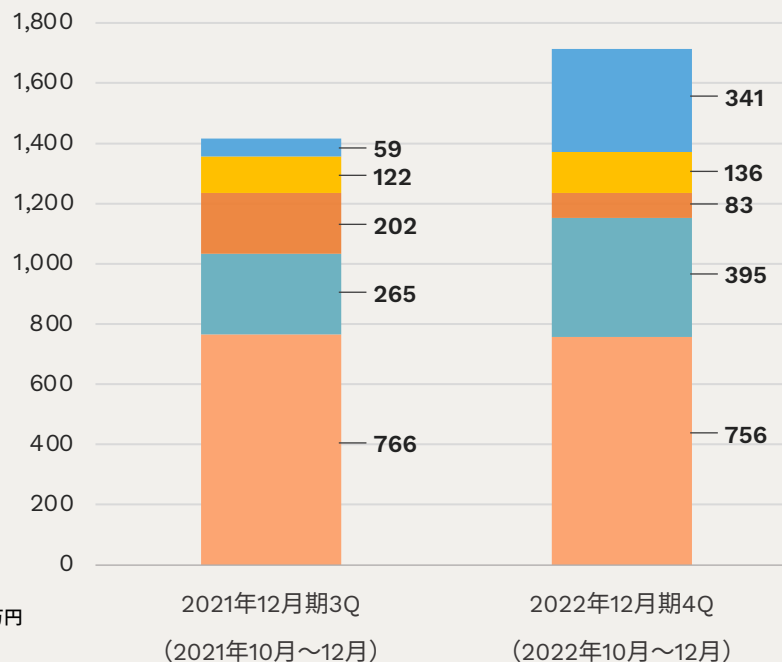
Fourth quarter

ジャンル別進捗

2022年12月期4Q実績



■ ゲーム ■ ブランド ■ マンガ ■ VOD ■ その他



単位：百万円

■ ゲーム ■ ブランド ■ マンガ ■ VOD ■ その他

2021年12月期まで「その他」に分類していた「ブランド」カテゴリを、2022年12月期より、個別で表示しております。

2021年12月期までの資料では、UNICORN株式会社の取扱高のみを表記しておりましたが、2022年12月期よりUNICORNを専売する当社の部署の取引分も加える事で、グループとしての外部取扱高の表記に変更致しました。そのため、2021年12月期以前の資料と本資料とでは取扱高が異なります。（他商材も扱う部署の取引分は加えておりません）

ブランド・その他のカテゴリが大幅に伸長。

About UNICORN

UNICORNの進捗

Fourth quarter

UNICORNの業績：前年同四半期比較

[単位：百万円]

	2022年12月期 第4四半期 (2022年10月～12月)	前年同四半期比 2021年12月期第3四半期 (2021年10月～12月)		
		実績	増減額	増減率
取扱高	1,713	1,417	+296	+20.9%
売上総利益	585	457	+127	+28.0%
営業利益	215	104	+111	+106.9%

2021年12月期までの資料では、UNICORN株式会社の取扱高のみを表記しておりましたが、2022年12月期よりUNICORNを専売する当社の部署の取引分も加える事で、グループとしての外部取扱高の表記に変更致しました。そのため、2021年12月期以前の資料と本資料とでは取扱高が異なります。（他商材も扱う部署の取引分は加えておりません）

取扱高、売上総利益、営業利益、それぞれ大幅に伸長。

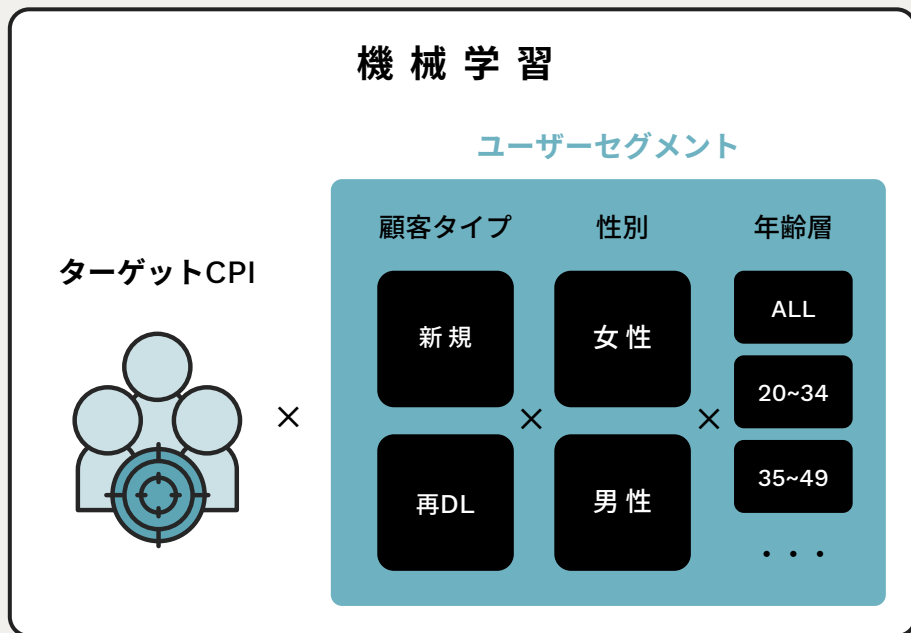
About UNICORN

App Store「Today」タブとプロダクトページでの自動最適化配信の提供を開始



「Today」タブ

プロダクトページ



「Today」タブは、App Storeにアクセスしたユーザーが最初に目にするコンテンツのため、アプリの露出を最大限高めることが可能。

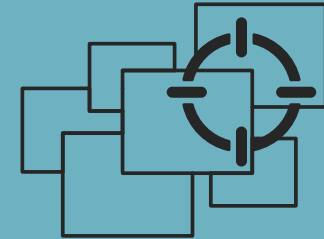
プロダクトページでは、アプリについて積極的に調べているユーザーへのリーチが可能。

先進的な広告手法 UNICORN Interactive AD



最先端の クリエイティブフォーマット

Banner／Video
Reward Video
Native／Interactive



UNICORNでの 高精度な配信最適化

コンテキスト／ロケーション
デモグラフィック
キャリア／承認リスト
(approved list)

これまでに無かったクリエイティブで、
これまでは出会えなかったユーザーと
全く新しい形のコミュニケーションを実現。

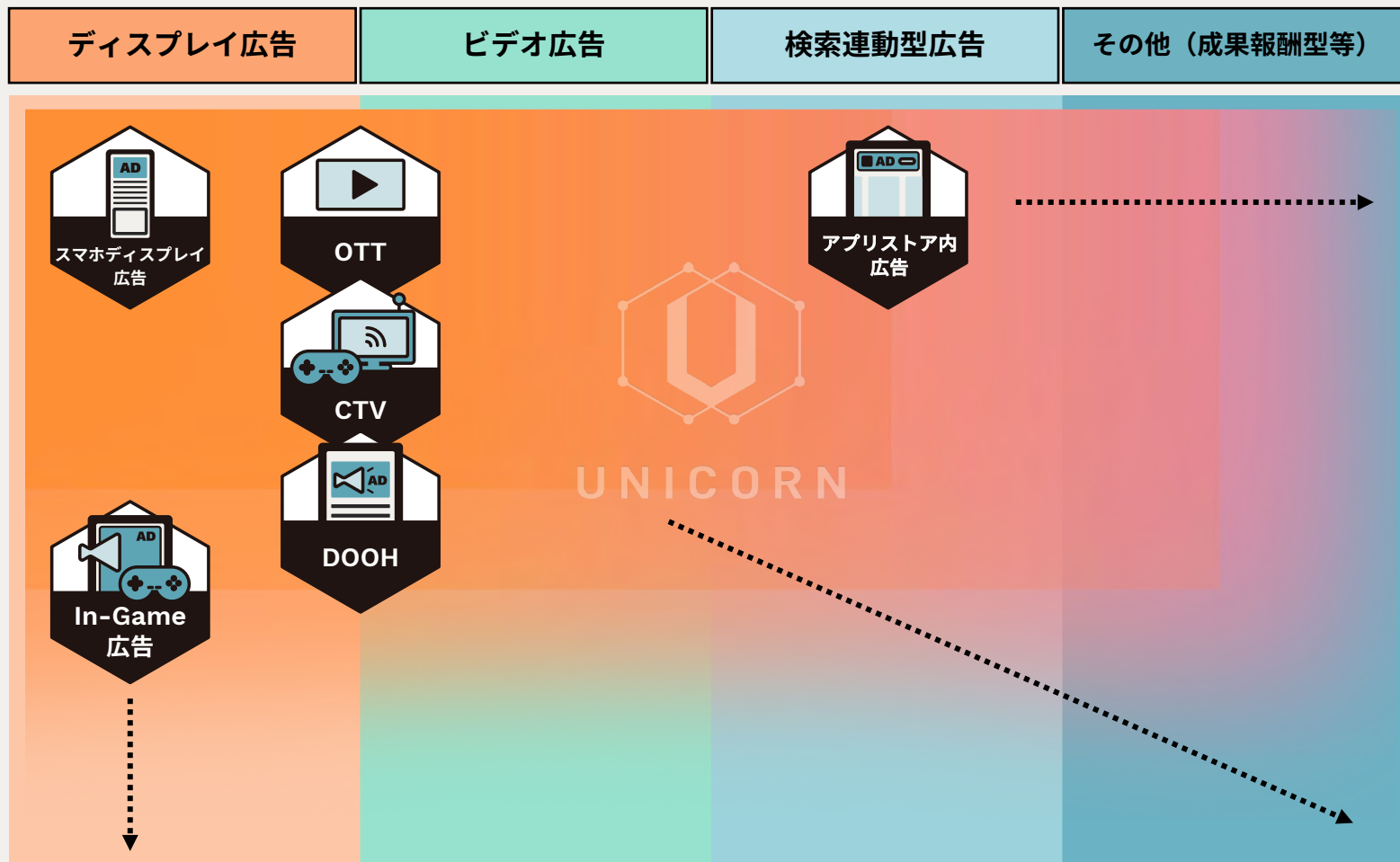
In-Game 広告を運営する「Bidstack」の 日本展開における販売契約を締結



広告を適切にレンダリングする事で、
ゲームの一部のようなリアルさと没入感を楽しむことが可能。

About **UNICORN**

UNICORNにおける広告配信面



あらゆるチャネルでのユーザーコミュニケーションの最適化を実現。

About UNICORN

D E E E

Delight
喜び

Exciting
わくわく

Eager
熱心

Exceed
超える

伝統と革新が融合する、
あたらしい集合体へ。

アドプラットフォーム事業を 株式会社ADWAYS DEEEへ承継



JANet
JAPAN Affiliate Network

Web領域に特化し、最大級のネットワークを保有した
アフィリエイトサービス



Smart-C

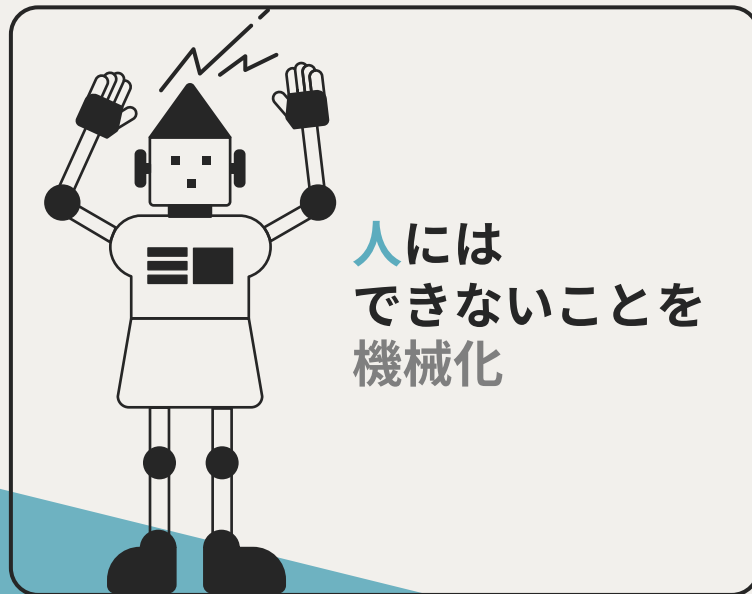
アプリ領域に特化し、最大級のネットワークを保有した
アフィリエイトサービス

AppDriver

エンゲージメント率向上と
広告収益を兼ねた
オファーウォール

ADWAYS DEEEでは、ステークホルダーの想像を超えた、
喜びやワクワクを生み出し、アフィリエイト広告を次の世代に
進化させてまいります。


人と機械の共生



×



パフォーマンスの最大化



Beyond Everything Internet

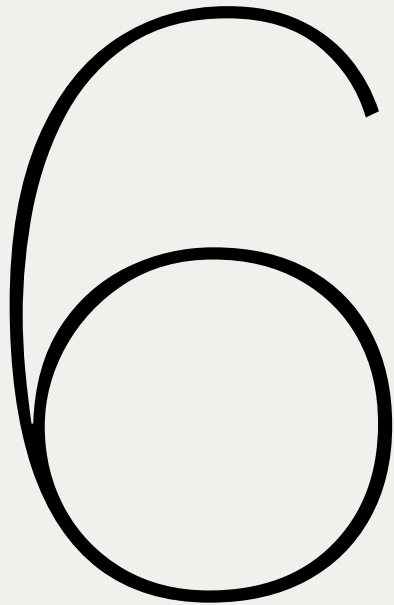
インターネットの全てを越えていく

なにが
すげー
みんなの初めて

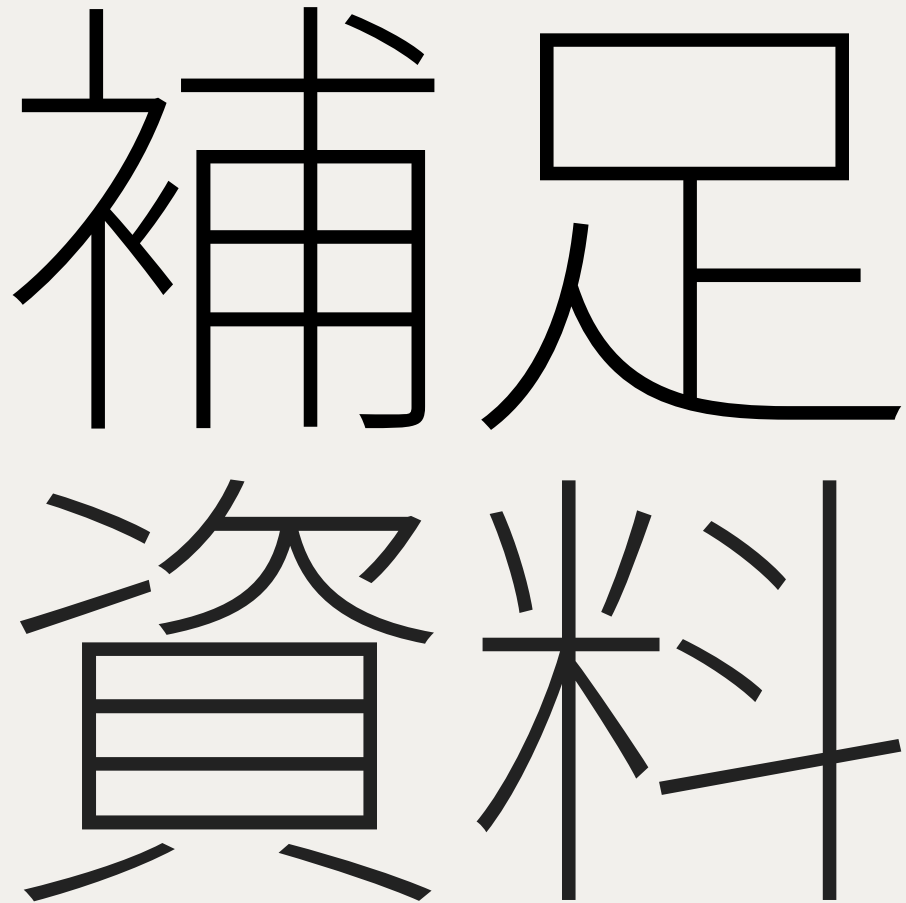
本日はありがとうございました

本資料は株式会社アドウェイズの事業及び業界動向についての株式会社アドウェイズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確かさ、その他要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社アドウェイズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、発表日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社アドウェイズにより2023年2月10日現在においてなされたものであり、様々な要因の変化等によって、実際の業績とは異なる可能性がありますことをご了承ください。



Chapter 6 : Supplementary materials



連結取扱高 年間業績推移

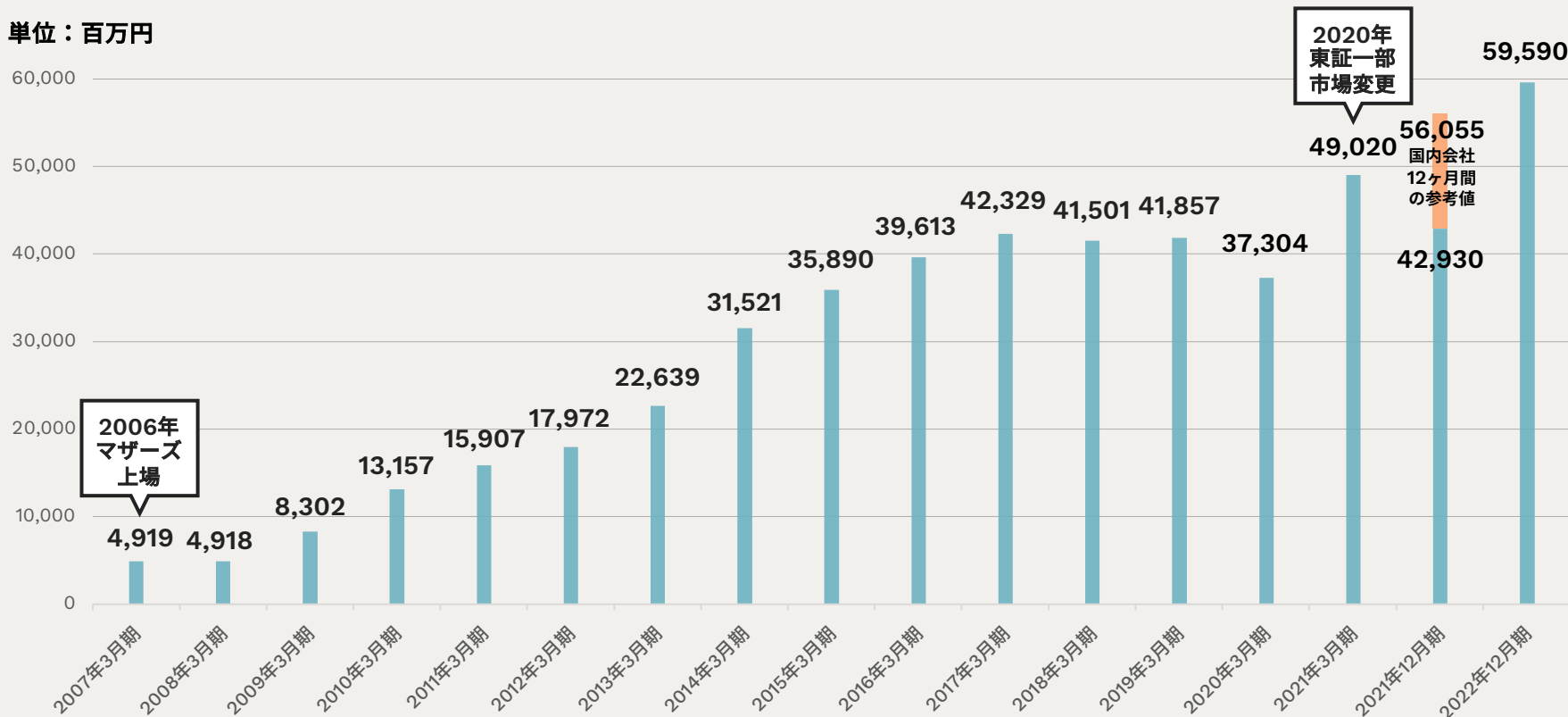
PC/フィーチャーフォン
アフィリエイト事業に注力

スマートフォン広告事業
の開始と拡大

海外への注力

新規プロダクト
への注力

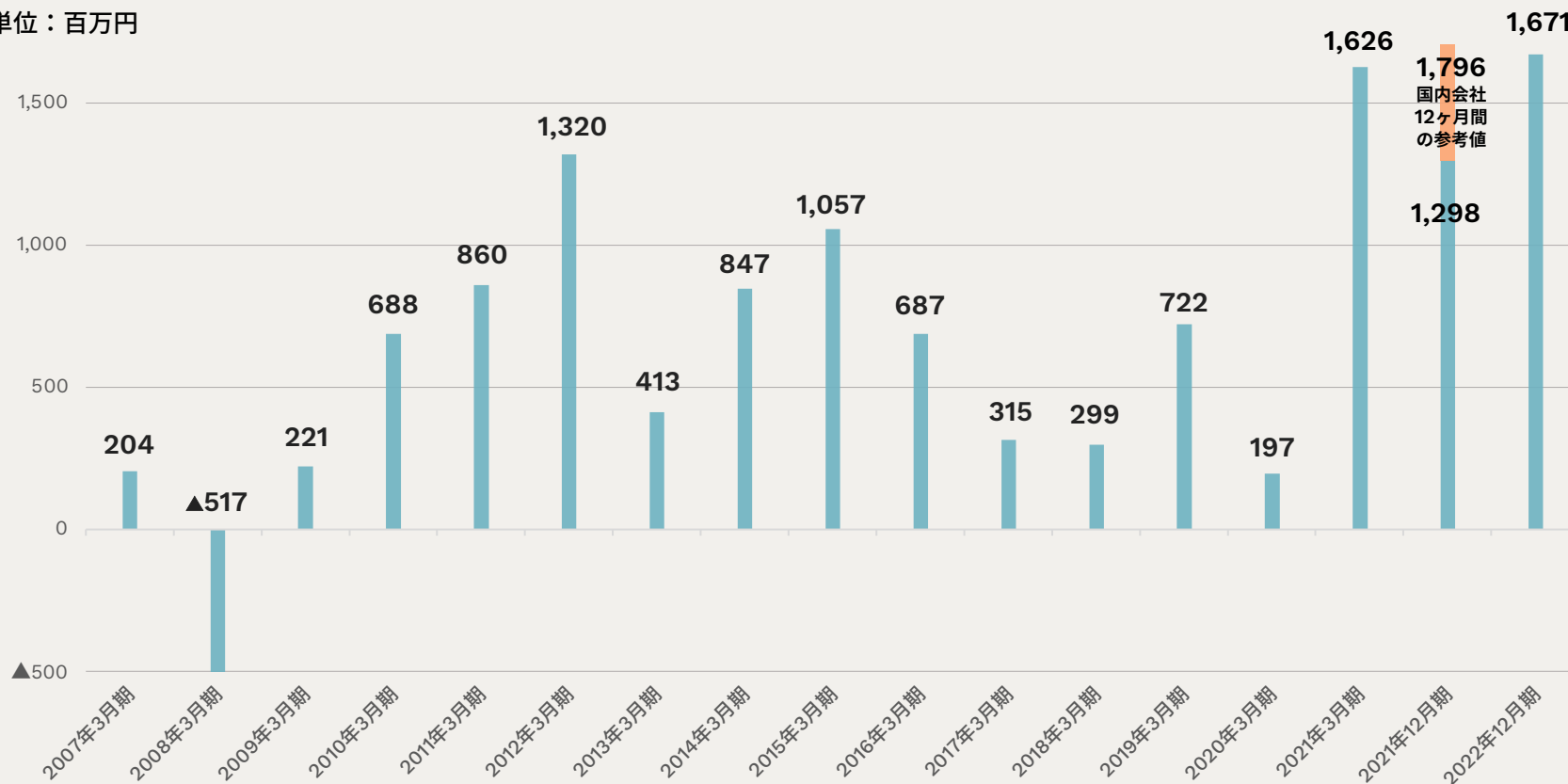
単位：百万円



※2021年12月期「国内会社12ヶ月間」は、2021年12月期の実績に、2021年3月期第4四半期(2021年1月～3月)の国内会社を加えた参考値です。
(決算期の変更に伴い、2021年12月期は国内会社の会計期間が9ヶ月間となります)

連結営業利益 年間業績推移

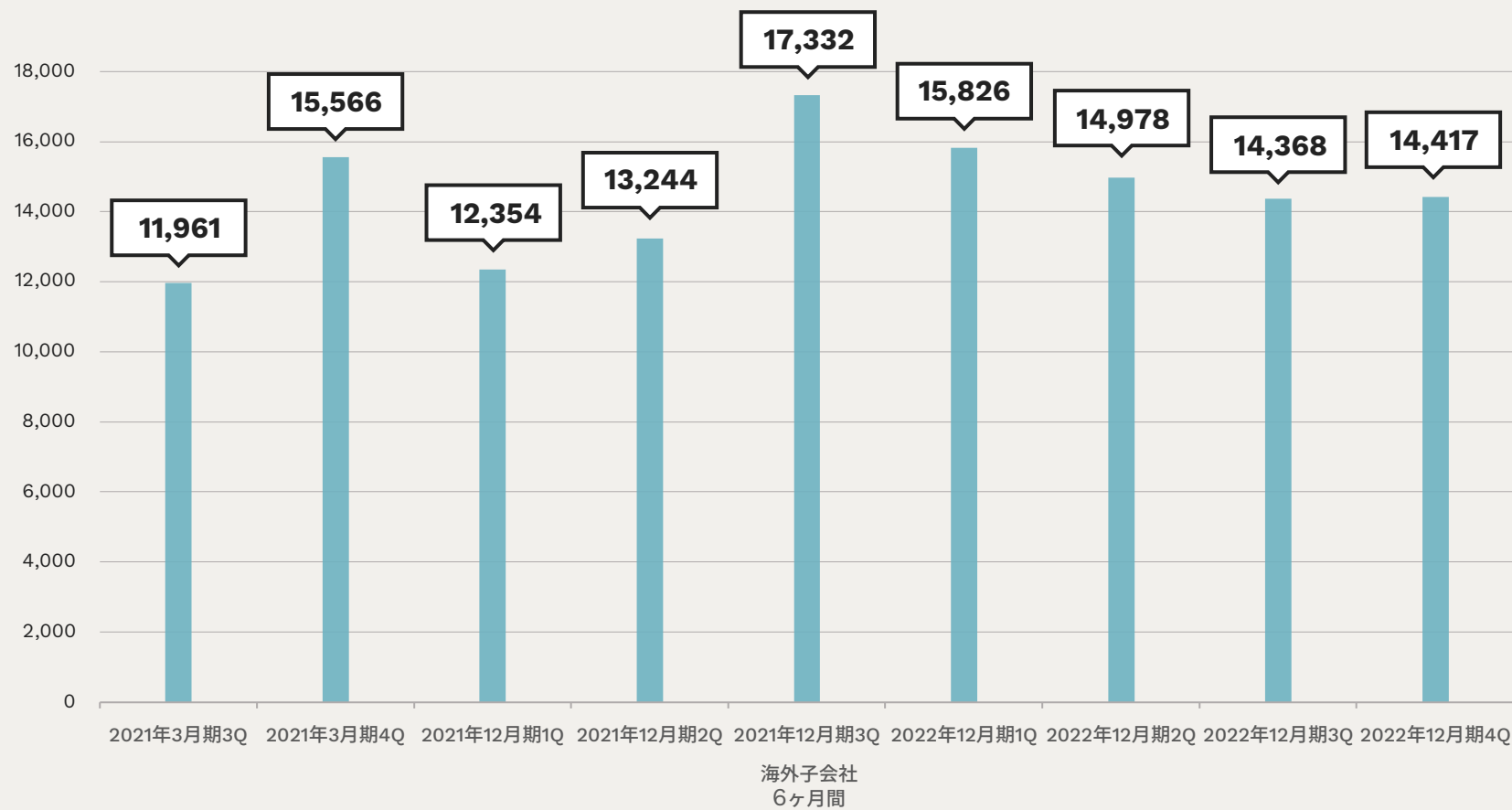
単位：百万円



※2021年12月期「国内会社12ヶ月間」は、2021年12月期の実績に、2021年3月期第4四半期(2021年1月～3月)の国内会社を加えた参考値です。
(決算期の変更に伴い、2021年12月期は国内会社の会計期間が9ヶ月間となります)

連結取扱高 四半期推移

単位：百万円

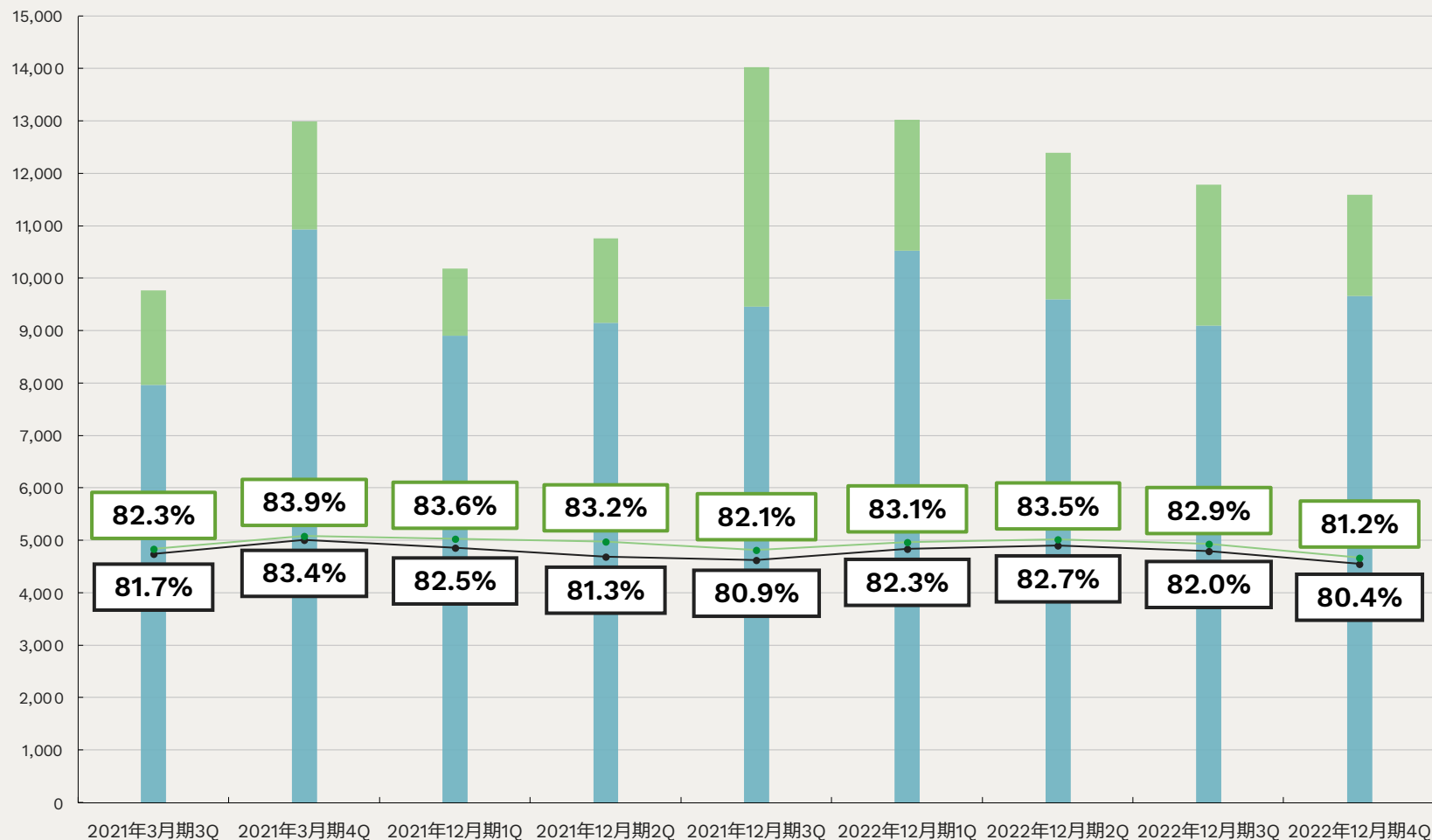


※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

連結売上原価 四半期推移

単位：百万円

■ 掲載料 ■ その他原価 ● 売上原価率 ● 掲載料率



海外子会社
6ヶ月間

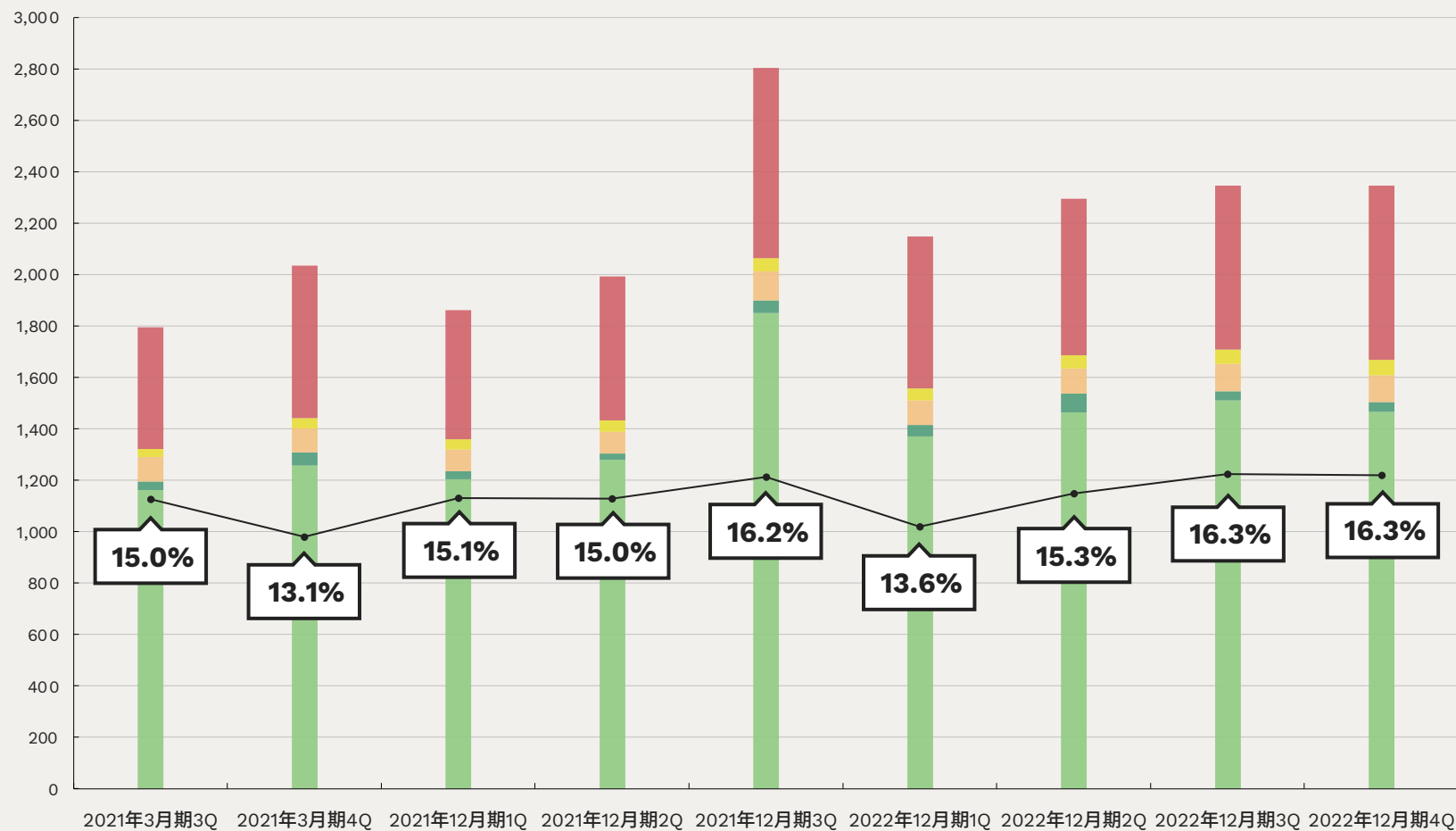
※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

※掲載料、掲載料率は単体での数値となります。

連結販管費 四半期推移

単位：百万円

■ 人件費
 ■ 採用教育費
 ■ 地代家賃
 ■ 減価償却費
 ■ その他経費
 —●— 販管费率

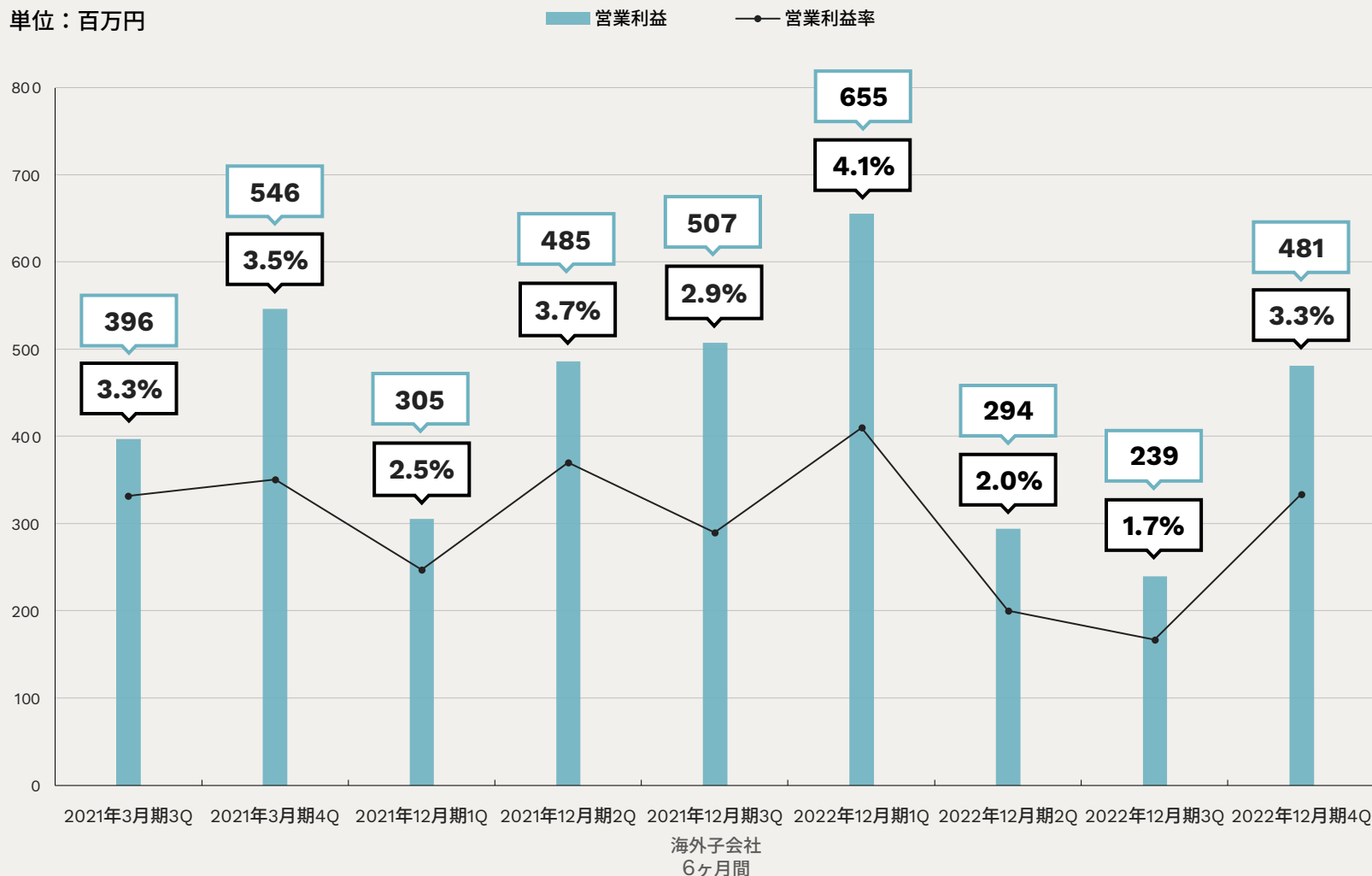


海外子会社
6ヶ月間

※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

連結営業利益 四半期推移

単位：百万円



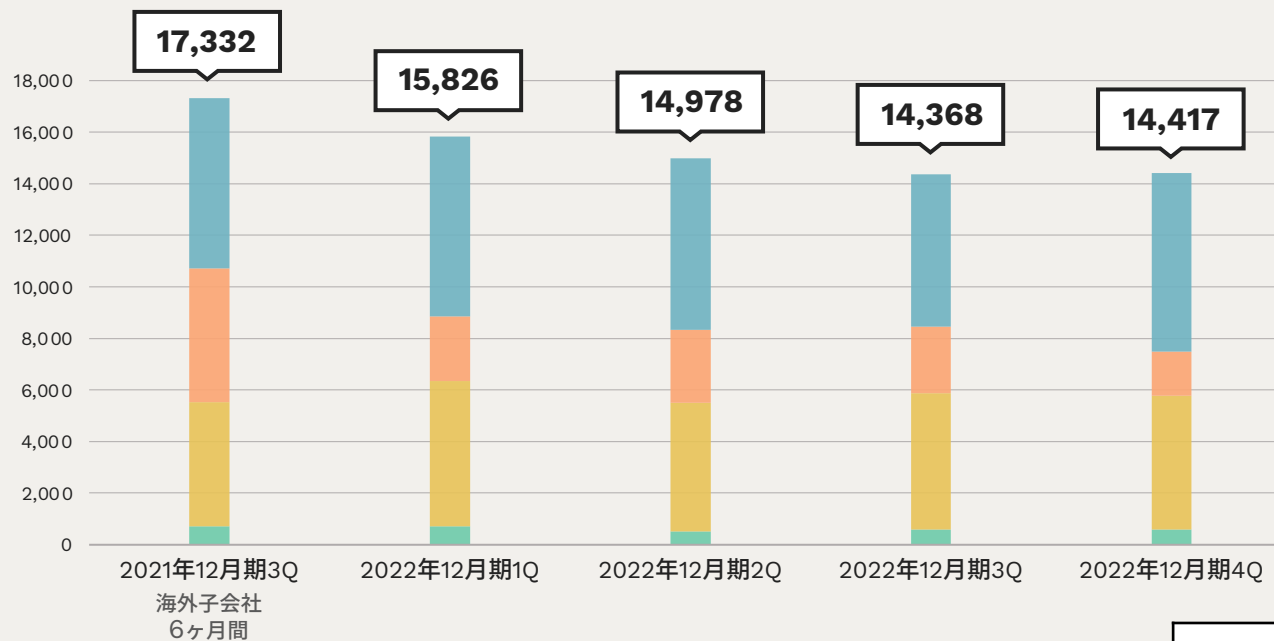
※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

連結貸借対照表（前四半期比）

[単位：百万円]

	2022年12月期4Q	2022年12月期3Q	増減額	増減率
流動資産	22,892	21,520	+1,372	+6.4%
（現預金）	12,864	12,180	+683	+5.6%
固定資産	4,897	7,444	▲2,546	▲34.2%
総資産合計	27,790	28,964	▲1,174	▲4.1%
流動負債	11,151	10,477	+674	+6.4%
固定負債	316	1,209	▲893	▲73.9%
負債合計	11,468	11,687	▲218	▲1.9%
純資産合計	16,322	17,277	▲955	▲5.5%

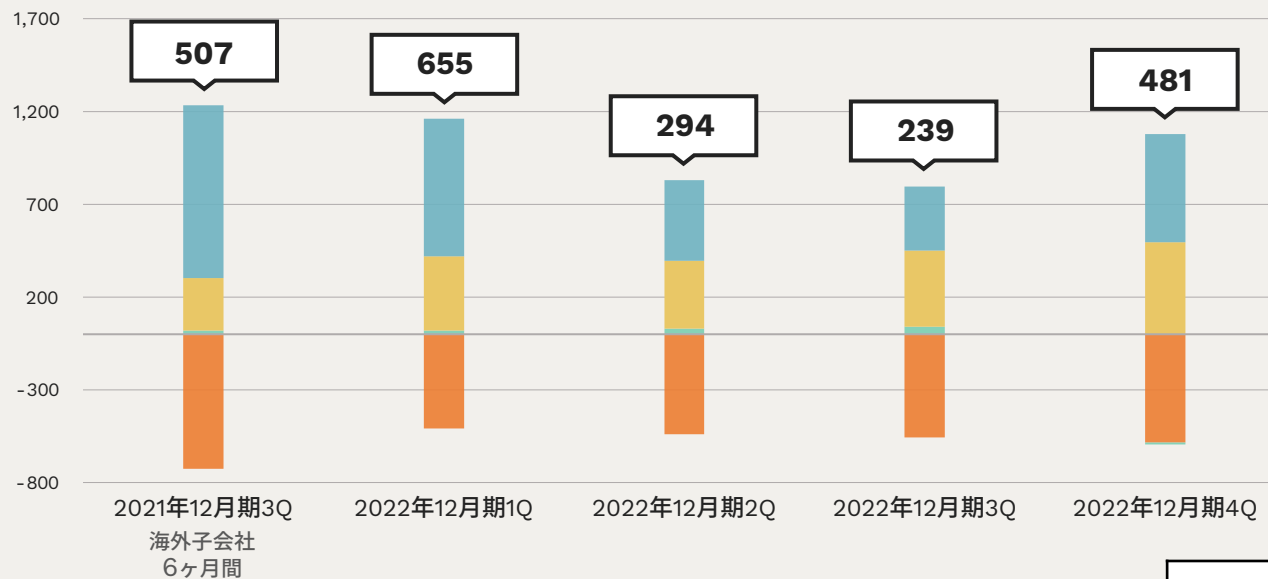
セグメント内訳別連結取扱高構成比 四半期推移



	2021年12月期3Q	2022年12月期1Q	2022年12月期2Q	2022年12月期3Q	2022年12月期4Q	前四半期比	
						増減額	増減率
■ エージェンシー(国内)	6,618	6,957	6,651	5,904	6,934	+1,030	+17.5%
■ エージェンシー(海外)	5,179	2,526	2,814	2,578	1,711	▲866	▲33.6%
■ アドプラットフォーム	4,826	5,619	4,990	5,303	5,182	▲121	▲2.3%
■ その他	706	722	522	582	587	+5	+1.0%
合計	17,332	15,826	14,978	14,368	14,417	+48	+0.3%

※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

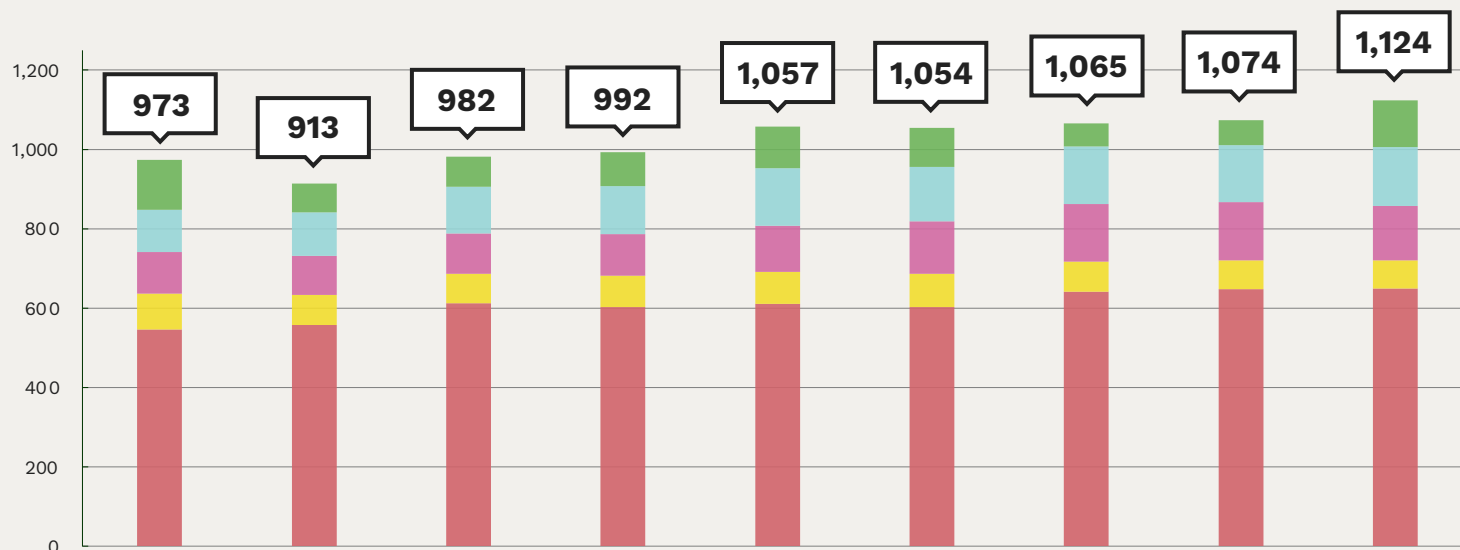
セグメント内訳別連結営業利益構成比 四半期推移



	2021年12月期3Q	2022年12月期1Q	2022年12月期2Q	2022年12月期3Q	2022年12月期4Q	前四半期比	
						増減額	増減率
エージェンシー	928	742	432	342	580	+237	+69.3%
アドプラットフォーム	283	399	368	410	497	+86	+21.1%
その他	21	20	37	42	▲13	▲55	—
消去又は全社	▲725	▲507	▲544	▲555	▲582	▲27	—
合計	507	655	294	239	481	+241	+100.6%

※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

当社グループの従業員数 四半期推移



単位：名

	2021年 3月期3Q	2021年 3月期4Q	2021年 12月期1Q	2021年 12月期2Q	2021年 12月期3Q	2022年 12月期1Q	2022年 12月期2Q	2022年 12月期3Q	2022年 12月期4Q
■ 日本アドウェイズ	546	558	613	602	611	603	641	648	649
■ 中国アドウェイズ	90	75	74	79	80	83	76	72	71
■ 国内子会社	105	99	101	106	117	132	146	147	137
■ 海外子会社 (中国以外)	107	110	117	120	144	138	144	143	148
■ 派遣/アルバイト等	125	71	77	85	105	98	58	64	119
合計	973	913	982	992	1,057	1,054	1,065	1,074	1,124

会社概要

会社名 株式会社アドウェイズ (英名 : Adways Inc.)

設立年月日 2001年2月28日

事業概要 インターネット関連事業

代表者氏名 山田 翔

資本金 1,716百万円 [2022年12月末日現在]

取扱高 59,590百万円 [2022年12月期連結]

従業員数 1,124名 (グループ全体) [2022年12月末日現在]

※臨時雇用者含む